

熊本市地域包括ケアシステムの構築に向けた 関係機関・団体等の取り組みについて



令和元年 11 月 6 日
熊本市 高齢福祉課

取りまとめ状況

1 対 象 関係機関・団体 32 団体
熊本市関係各課 26 課

2 期 間 平成 31 年 2 月 ~

(参考：H28 年度アンケート実施状況)

平成 28 年 11 月 ~ 12 月にアンケートを実施し、デルファイ法 を用いて、関係機関・団体の優先順位及び取組内容を取りまとめ。

第 1 次調査 課題の把握

第 2 次調査 課題の優先順位づけ

第 3 次調査 課題（取り組む項目）の優先順位づけ、関係者の取り組み把握

デルファイ法...関係者がそれぞれ独自に意見を出し合い、その意見を相互に参照し、再び意見を出し合うといった作業を数回繰り返すことで意見(課題)を明らかにし集約化する手法

優先 順位	地域包括ケアシステム構築に向けた取り組み	頁
1 高齢者がいつまでも元気で自らの力を発揮できるまちづくり(介護予防・生活支援)		
(1)	サロンや介護予防活動等、通いの場づくり	1
(2)	高齢者の得手や力をいかす取り組み促進	5
(3)	地域で見守り支え合う体制づくり	7
(4)	高齢者の健康づくり	11
(5)	地域の人材の発掘・育成と活用	16
(6)	地域や地域の高齢者のニーズの把握や分析	19
(7)	生活支援の充実(インフォーマルサービスの創設)	21
(8)	世代間交流の促進	23
(9)	高齢者相談体制の充実	26
(10)	介護予防活動や生活支援等の情報提供	28
2 医療と介護が充実し、在宅(地域)で生活する市民が安心して暮らせるまちづくり (在宅医療・介護連携)		
(1)	切れ目のない在宅医療と在宅介護の連携推進	30
(2)	地域の在宅医療・介護を担う人材の育成	34
(3)	地域の在宅医療を担う医師や医療機関の確保	37
(4)	在宅医療や介護等に関する地域住民への普及啓発	39
(5)	医療・介護関係者の情報共有の支援	41
(6)	在宅医療・介護連携に関する相談支援	43
(7)	在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	45
(8)	地域の医療・介護の資源の把握	47
3 認知症の人とその家族が地域で安心して暮らせるまちづくり(認知症対策)		
(1)	地域で見守り支え合う体制づくり	49
(2)	認知症に対する正しい理解の普及啓発	52
(3)	認知症高齢者を抱える家族への支援	56
(4)	関係機関による連携体制の構築	58
(5)	気軽に相談できる体制の充実	60
(6)	認知症の早期発見・初期対応	62
(7)	身近な場所での居場所づくり	64
(8)	認知症サポーターの養成・活用	66
(9)	高齢者の移動手手段の確保(認知症高齢者の事故防止)	68
(10)	認知症の方の生活支援	70
4 高齢者が自らに合った暮らし方を選択できるまちづくり(高齢者の住まい関連)		
(1)	高齢者の移動手手段の確保	72
(2)	高齢者が住みやすいまちづくり	74
(3)	高齢者向け住宅・施設の整備・促進	76
(4)	高齢者の生活支援の充実	78
(5)	住宅・施設の入居に関する相談・支援	80
(6)	高齢者の特性に応じた住まいづくり	82
(7)	多様な住まい方についての意識啓発	84
(8)	高齢者向け住宅のサービスの質の確保	86
(9)	高齢者向け住宅・施設に関する情報提供	88
平成30年度の取組により「新たに課題であると感じた」こと、その他ご意見		90

テーマ1 元気な高齢者が自らの力を発揮できるまちづくり
(介護予防・生活支援)

(1) サロンや介護予防活動等、通いの場づくり

平成30年度中の取組状況

【関係機関・団体】

	団体名	具体的取組
1	熊本県理学療法士協会	西区の地域包括支援センターへの協力として、転倒予防に関する講話や体操指導等が3回行われ、3名の会員が派遣された。
2	熊本県作業療法士会	地域のサロン等で当会作成の「生き生き体操」の紹介や指導し介護予防活動への協力。「生き生き体操」DVDの配布など。
3	熊本県老人保健施設協会	各会員施設が地域の要請によりサロン等へセラピストや管理栄養士など専門スタッフを派遣。
4	熊本市地域包括支援センター連絡協議会	「くまもと元気くらぶ」の立ち上げ支援、運営支援を適宜行っており、平成30年度末時点で立ち上げ見込みも含め、47カ所の元気くらぶが運営されている。その他、ふれあいいきいきサロンなどの運営支援も継続している。
5	熊本市社会福祉協議会	ふれあい・いきいきサロンを95校区約550カ所にて実施。
6	熊本市民生委員児童委員協議会	ふれあい・いきいきサロンの充実。みなし仮設入居者へも呼びかけを行った。体操を中心とした内容で開催(介護予防運動実施) 男性のみのサロンの開催(主に独居の方)。
7	熊本市食生活改善改善推進員協議会	サロンで低栄養にならない様にチラシ等説明。
8	健康まちづくりを推進する東区の代表	各町内ごとにサロンを月1回開催、8サロン合計1か月120人程の参加。
9	健康まちづくりを推進する北区の代表	2町内の公民館で健康サロンを実施し、約80名が参加。

【行政】

	団体名	具体的取組
1	地域活動推進課	地域の拠点施設として整備している各地域コミュニティセンターにおいて、関係機関と連携しながらサロンや介護予防活動等の事業を実施した。
2	健康福祉政策課	サロン等の運営に携わる民生委員・児童委員の活動支援。
3	中央区福祉課	週1回以上の運動に取り組む地域活動を中心に介護予防活動の状況把握を行い、リスト化した。 元気くらぶやいきいき百歳体操を実施している団体への相談対応、活動支援を行った。 各包括圏域で実施されている通いの場の交流会に参加し、課題等を共有した。 地域包括支援センターと連携し、住民主体の通いの場づくりに向けた啓発を行った。

	団体名	具体的取組
4	中央区保健子ども課	地域包括支援センター等と連携し、高齢者サロンで介護予防のための技術支援（健康教育等）を実施した。 自治協や民児協等の会議において、高齢者サロン設置の必要性を啓発した。
5	東区福祉課	くまもと元気くらぶの周知・啓発と活動団体からの相談対応 東区地域り八連絡会・研修会への参加（地域での介護予防の取組について専門職との意見交換）。 介護予防に取り組むボランティアの交流会を開催（2/年）。 管内サロン活動状況の把握。 西原校区において、西原中学校の空き教室を利用した「スクールカフェ」の開催（1/月）。 託麻南校区において、ふれあい・いきいきサロンの合同交流会の開催（3/年）。
6	東区保健子ども課	地域や関係機関とサロンの運営や年間計画について話し合うなど、地域主体の実施へ協力。 秋津仮設住宅サロン支援（3回/年、健康まちづくり推進員協力あり）。 健軍校区で子育て支援センターを活用した元気くらぶの発足（1回/週、H30年10月開始、かわせみ子育て支援センター）。市の助成金利用なし。 サロンでの口コミ、フレイル予防啓発（歯科、栄養とも連携）。
7	西区福祉課	今年度新たに9団体立ち上がり、前年度より引き続き申請された団体を含め16団体となった。「くまもと元気くらぶ」として新たに立ち上がる団体には、スムーズに自主活動に移行するよう独自の説明用チェックリスト作成し、必ず事前の打ち合わせを行うようにした。また元気くらぶ間の交流を図り、継続的な活動をすすめるため、元気くらぶ交流会を開催した。
8	西区保健子ども課	地域主体の高齢者サロンの支援（技術支援：血圧測定、健康教育、健康相談 運営支援：サロン企画会議に参加、サロンを支援する専門職者会議の企画や参加）
9	南区総務企画課富合まちづくりセンター	ささえりあ富合が中心となり組織された「サロン運営委員会」に参加（サロンサポーター養成講座・サロン発表会等の運営協力、サロン立ち上げ時の備品貸し出し協力）
10	南区福祉課	「くまもと元気くらぶ」の立ち上げ支援を行った。
11	南区保健子ども課	地域主体の組織である高齢者サロンを活用して、介護予防の普及啓発を行った。 関係機関と協力して、高齢者サロンの運営支援を行った。
12	北区福祉課	「くまもと元気くらぶ」の立ち上げ支援を行い、3か所が新たに立ち上がった。 5か所のくまもと元気くらぶに対し、活動支援補助金の交付や体力測定の支援を行った。
13	北区保健子ども課	「くまもと元気くらぶ」や健康まちづくりの一環として、新たな高齢者サロンの立ち上げ支援を行った。また校区独自の体操を創りサロンで活用するため、熊大と連携を始めた。
14	高齢福祉課	平成29年度開始した住民主体の通いの場「くまもと元気くらぶ」への支援や普及拡大を図り、29団体増加した。

テーマ1 元気な高齢者が自らの力を発揮できるまちづくり
(介護予防・生活支援)

(1) サロンや介護予防活動等、通いの場づくり

令和元年度の具体的取組

【関係機関・団体】

	団体名	具体的取組
1	熊本県理学療法士協会	西区地域包括支援センターの活動に協力し、運動機能向上に向けた取り組みを行う。
2	熊本県作業療法士会	体操の紹介や習慣化への支援から通いの場の運営支援まで主体的な活動への促しへ協力。ボランティア育成や体制整備への取り組み協力など。
3	熊本市地域包括支援センター連絡協議会	引き続き、くまもと元気くらぶの立ち上げ・運営支援を推進するとともに、新規事業である総合事業B型・C型を地域に対し普及啓発活動を行い、個々の高齢者のニーズに応じる事ができる多様な通いの場の創出を目指す。
4	熊本市社会福祉協議会	ふれあい・いきいきサロン活動の実施。
5	熊本市民生委員児童委員協議会	ふれあい・いきいきサロンの充実。地域の課題である、ひとり暮らしの男性やひきこもりがちな人へのアプローチを図る。
6	熊本市食生活改善推進員協議会	シニアカフェややさしい在宅介護食教室等を実施する。
7	健康まちづくりを推進する東区の代表	町内で実施の健康体操教室の充実、「元気くらぶ」への移行
8	健康まちづくりを推進する北区の代表	平成30年度に引き続き、取り組んでいない町内への支援を行い、校区の全町内が取り組むように健康サロンの充実を図る。

【行政】

	団体名	具体的取組
1	地域活動推進課	地域の拠点施設として整備している各地域コミュニティセンターにおいて、関係機関と連携しながらサロンや介護予防活動等の事業を実施する。
2	健康福祉政策課	サロン等の運営に携わる民生委員・児童委員の活動支援
3	中央区福祉課	地域包括支援センターと連携し、住民主体の通いの場づくりに向けた啓発、立ち上げ支援を行う。 中央区管内いきいき百歳体操大交流会を行い、既存団体の活動発展・継続や新規団体の立ち上げ支援につなげていく。
4	中央区保健子ども課	地域包括支援センター等と連携・役割分担のもと、高齢者サロン等で介護予防のための技術支援(健康教育・健康相談)等)を実施する。 地域包括支援センターと連携し、高齢者サロンや元気くらぶの必要性を啓発する。元気クラブには交流会にも参加し活動の支援を行う。
5	東区福祉課	くまもと元気くらぶの周知・啓発と活動団体からの相談対応 東区地域リハ連絡会・研修会への参加(地域での介護予防の取組について専門職との意見交換) 介護予防に取り組むボランティアの交流会を開催(2/年) 管内サロン活動状況の把握 西原校区において、西原中学校の空き教室を利用した「スクールカフェ」の開催(1/月) 託麻南校区において、ふれあい・いきいきサロンの合同交流会の開催(3/年)

	団体名	具体的取組
6	東区保健子ども課	地域主体の取り組みに協力実施 サロン等でロコモ、フレイル予防啓発を継続
7	西区福祉課	「くまもと元気くらぶ」の立ち上げ支援や継続支援を実施する。元気くらぶの交流会を開催し元気くらぶ間の情報交換や交流を図る。運動を取り入れた活動のない地域への普及啓発をささえりあと連携して行う。
8	西区保健子ども課	地域主体の高齢者サロンの支援（技術支援：血圧測定、健康教育、健康相談 運営支援：サロン企画会議に参加、サロンを支援する専門職者会議の企画や参加）
9	南区総務企画課富合まちづくりセンター	ささえりあ富合が中心となり組織された「サロン運営委員会」に参加（サロンサポーター養成講座・サロン発表会等の運営協力、サロン立ち上げ時の備品貸し出し協力）
10	南区福祉課	前年度に引き続き、「くまもと元気くらぶ」の立ち上げ支援を行う。
11	南区保健子ども課	高齢者サロンや地域関係団体に対する介護予防の普及啓発 住民が主体的に介護予防活動を行えるような通いの場立ち上げに向けた関係機関との連携 住民主体の通いの場（くまもと元気くらぶ）に対するフレイル予防の健康教育
12	北区福祉課	「くまもと元気くらぶ」の立ち上げ支援や継続支援を実施する。
13	高齢福祉課	引き続き、「くまもと元気くらぶ」への支援や普及拡大を図るとともに、新たに創設した地域支え合い型通所サービスの普及を図る。

テーマ1 元気な高齢者が自らの力を発揮できるまちづくり
(介護予防・生活支援)

(2) 高齢者の得意や力をいかす取り組み促進

平成30年度中の取組状況

【関係機関・団体】

	団体名	具体的取組
1	熊本市老人クラブ連合会	レクリエーション大会(年1回市民会館)自分の得意な歌や踊りを披露する。 シルバー文化作品展、現代美術館で絵や作品を展示する。
2	熊本県老人保険施設協会	介護アシスタント養成事業に県内施設より20施設が参加(うち市内10施設)。

【行政】

	団体名	具体的取組
1	健康づくり推進課	食生活改善推進員の養成【H30年度修了者 72名】。 食生活改善推進員協議会【H30年度会員数 634名】では、全校区にて「すこやか食生活改善講習会」を実施。その他、男性料理教室や減塩教室、カルシウムが多く摂れる料理教室なども実施している。 8020表彰(8020達成者への表彰)【H30年度 97名】 8020推進員の養成【H30年度 79名】
2	中央区保健子ども課	子育てネットワークや子育てサークルの行事で、高齢者の指導による伝承遊びが行われた。
3	東区保健子ども課	ささえりあ主催会議で、地域関係者、関係機関スタッフ間で検討。 高齢者による、下校時の子どもの見守り活動(健軍校区子どもを守る会)。 各地域のイベントで、ボランティアとして活動(8020、食改、健まち等)。
4	西区総務企画課	西区フェスタのコンテンツの1つとして昔遊び体験を実施。地域の高齢者を招き、お手玉やペーパー竹とんぼなどを子どもたちの前で実演し、子どもたちにも体験してもらい、世代間交流の促進として開催。
5	南区総務企画課 幸田まちづくりセンター	ささえりあ、民児協等と高齢者を講師とした体験プログラムを核とする新規事業についての打ち合わせ。
6	南区保健子ども課	8020推進事業(8020推進員育成)を実施した。 食生活改善推進員協議会の活動支援(食生活改善推進事業)を行った。
7	北区福祉課	介護サポーター登録者とサロンリーダーの合同研修を開催した。
8	高齢福祉課 介護保険課	老人クラブの活動支援や介護保険サポーターポイント制度を実施。シルバー人材センターの活動支援等を行った。

テーマ1 元気な高齢者が自らの力を発揮できるまちづくり
(介護予防・生活支援)

(2) 高齢者の得意や力をいかす取り組み促進

令和元年度の具体的取組

【関係機関・団体】

	団体名	具体的取組
1	熊本県介護支援専門員協会 会熊本市支部	ケアマネジメントにおけるアセスメント研修会等を開催（自立支援・エンパワーメント）予定
2	熊本県老人保健施設協会	介護アシスタント育成事業の継続と充実。
3	熊本市老人クラブ連合会	レクリエーション大会（年1回市民会館）健康体操、コーラス、楽器演奏、ダンス、舞踊、詩吟を披露 シルバー文化作品展を実施・・・現代美術館において絵画、書道、手芸、陶芸、工芸、写真を展示

【行政】

	団体名	具体的取組
1	健康づくり推進課	食生活改善推進員の養成及び地区組織活動支援 8020推進員の育成及び地域組織活動支援
2	中央区保健子ども課	子育てネットワークや子育てサークル等の行事に高齢者が得意や力をいかせる内容を地域と一緒に検討し支援する。
3	東区福祉課	実施に向けた相談対応 先行取組の広報を通じた啓発 他地域での立ち上げに向けた相談対応
4	東区保健子ども課	ささえりあ主催会議に継続参加し、引き続き協議 各地域のイベントで、ボランティアとして活動（8020、食改、健まち等）
5	南区総務企画課 幸田まちづくりセンター	高齢者を講師とした体験プログラムを核とする「世代間交流促進事業」に取り組む
6	南区保健子ども課	8020推進事業（8020推進員育成）及び8020推進員活動支援。 食生活改善推進員養成と食生活改善推進員協議会の活動支援（食生活改善推進事業）
7	高齢福祉課 介護保険課	引き続き、老人クラブやシルバー人材センターの活動支援を行うとともに、ポイント制度を拡充した介護保険サポーター制度の普及に努め対象者の拡大を図る。

テーマ1 元気な高齢者が自らの力を発揮できるまちづくり
(介護予防・生活支援)

(3) 地域で見守り支え合う体制づくり

平成30年度中の取組状況

【関係機関・団体】

	団体名	具体的取組
1	熊本県看護協会	平成31年2月2日(土)に3年目となる「看護がつなく地域包括フォーラム」を八代で開催した。内容は急性期病院の入退院支援活動、一般病棟における認知症患者の在宅支援活動、介護老人保健施設における高齢者の在宅療養支援活動、在宅療養における訪問看護での看取り、在宅での看取りを経験したご家族等の5人リレートークを実施した。民生委員、婦人の会等地域住民55名、保健・医療・福祉関係者181名の計236名が参加した。
2	熊本市民生委員児童委員協議会	シルバーボランティア(主に老人会会員)、民生委員OB・OG、自治会役員等の参加による「地域の見守り情報交換会」を開催。毎月課題を決めて協議し、解決に向け取り組んだ。
3	熊本市老人クラブ連合会	シルバーヘルパー養成事業(講義5時間、実技2時間)を実施。年間120人に修了証を交付し友愛訪問員及び指導者を育成している。
4	健康まちづくりを推進する西区の代表	校区社会福祉協議会の機能的運営、地域団体や住民に対する地域福祉の理解の深化

【行政】

	団体名	具体的取組
1	健康福祉政策課	地域福祉の担い手である民生委員・児童委員の活動支援(高齢者見守り事業のため高齢者名簿の配布)。
2	市民病院地域医療連携室	地域の座談会への参加。
3	中央区保健子ども課	民児協や校区社会福祉協議会、地域ケア会議等に参加し、体制づくりに係る情報提供・啓発を行うなどの側面的支援を行った。
4	東区福祉課	校区の見守り体制づくりに向け月1回開催される、自治組織、事業所、警察、ささえりあ、行政等での協議会に参加している(長嶺校区)。 地域住民が安心安全に暮らせるまちづくりに向けて様々な職種と地域住民との交流会を実施している。3回/年(ささえりああさひば圏域)。 認知症声かけ訓練事前研修会の開催。 校区座談会の開催支援(健軍校区)。
5	東区保健子ども課	ささえりあ主催会議において、地域組織、関係機関スタッフで体制づくりについて協議。 まちづくりセンター単位の実務者連絡会(まちづくりセンター、保健こども課、福祉課、ささえりあ、区社協、相談支援事業所、広域り八等で構成)に定期的に参加し、地域課題や支えあう体制づくりについて意見交換を実施。 サロン運営に関する会議に参加し、地域役員や関係機関と地域包括ケア、高齢者の支援について協議。

	団体名	具体的取組
6	西区総務企画課 花園まちづくりセンター	平成29年度から地域の課題解決を行うため、花園まちづくりセンター、西区役所の関係各課（総務企画課、福祉課、保健子ども課、地域支え合いセンター）の行政機関とささえりあ井芹、社会福祉協議会西区事務所の民間機関との集合体「花園支援チーム」を結成。定期的に協議を行い、情報共有、事業の企画を行っている。 本年度は高齢者の生きがい対策事業として地域包括関連の講演会を実施。
7	西区保健子ども課	高齢者見守りの課題共有・対策協議を行う地元主催会議（「高齢者見守りネットワーク会議」）に参加。 地域包括支援センター協議体や社会福祉協議会会議へ参加し、地域の高齢者支援の現状・課題・解決にむけた協議に参加。
8	南区保健子ども課	民協会議や地域包括支援センター主催の地域運営協議会において個別ケースの情報交換や地域課題の共有化を行った。
9	北区福祉課	北部、清水、植木、龍田の各まちづくり支援センターと地域支援チーム会議を開催し、地域課題の解決に取り組んだ。
10	高齢福祉課	地域包括支援センターと民生委員・児童委員との連携による見守り事業の実施のほか、地域の生活支援体制の強化に向けて地域包括支援センターに配置した生活支援コーディネーターを専任化した。

テーマ1 元気な高齢者が自らの力を発揮できるまちづくり
(介護予防・生活支援)

(3) 地域で見守り支え合う体制づくり

令和元年度の具体的取組

【関係機関・団体】

	団体名	具体的取組
1	熊本県看護協会	地域住民、医療・保健・福祉関係者を対象に「看護がつなぐ地域包括ケアフォーラム」を今までに鹿本・人吉・八代で開催しており、31年度はそれ以外の地域で開催予定である。
2	熊本市薬剤師会	薬局での観察、声かけ、ヒアリングなどでの状況の把握と関係者との協力体制の構築
3	熊本市老人クラブ連合会	シルバーヘルパー養成事業(5時間の講義、2時間の実技)年間120人に修了証を交付し、友愛訪問及び指導者を育成する。

【行政】

	団体名	具体的取組
1	地域活動推進課	リーフレットの配布や周知を継続することで自治会への加入を促進し、地域と関わる世帯を増やすことで、地域で支えあう体制に繋げる。
2	健康福祉政策課	地域福祉の担い手である民生委員・児童委員の活動支援(高齢者見守り事業のため高齢者名簿の配布)
3	市民病院地域医療連携室	地域の座談会に引き続き参加。医療・介護の連絡会への参加。
4	中央区保健子ども課	自治協や民児協、地域包括支援センターとの連絡会、地域ケア会議等に参加し、役割等を検討しながら見守り体制を構築する。
5	東区福祉課	校区の見守り体制づくりに向け、自治組織、事業所、警察、ささえりあ、行政等での協議会を継続する予定(長嶺校区) 地域住民が安心安全に暮らせるまちづくりに向けて様々な職種と地域住民との交流会を継続して実施していく。3回/年(ささえりああさひば圏域) 認知症声かけ訓練事前研修会の開催 校区座談会の開催支援
6	東区保健子ども課	ささえりあ主催会議に継続参加し、引き続き協議。 まちづくりセンター単位の実務者連絡会に定期的に参加し、地域課題や支えあう体制づくりについての意見交換を実施。 サロンの運営に関する会議に参加し、地域役員や関係機関と地域包括ケア、高齢者の支援について協議。
7	西区総務企画課 花園まちづくりセンター	ささえりあと等の関係機関と協議を行いながら、高齢者支援対策の協議予定。
8	西区保健子ども課	高齢者見守りの課題共有・対策協議を行う地元主催会議(「高齢者見守りネットワーク会議」)に参加。 地域包括支援センター協議体や社会福祉協議会会議へ参加し、地域の高齢者支援の現状・課題・解決にむけた協議に参加。
9	南区保健子ども課	地域特性に応じた関係機関(福祉課・地域包括支援センター等)との連携方法や支援内容の検討
10	北区福祉課	北部、清水、植木、龍田の各地域支援チーム会議に出席し、地域課題の解決に取り組む。

	団体名	具体的取組
11	北区保健子ども課	復興自治推進経費にて見守りボランティアの養成と組織化を行い、見守り体制を構築する。
12	高齢福祉課	引き続き、地域包括支援センターと民生委員・児童委員等との連携による高齢者見守り事業を実施するとともに、生活支援コーディネーターや各区と連携し、地域支え合い型サービス等の支援制度の開発に向けた取り組みを推進する。

テーマ1 元気な高齢者が自らの力を発揮できるまちづくり
(介護予防・生活支援)

(4) 高齢者の健康づくり

平成30年度中の取組状況

【関係機関・団体】

	団体名	具体的取組
1	熊本市医師会	熊本市民健康フェスティバルの開催(10月21日 於 熊本市総合体育館)。
2	熊本市歯科医師会	「熊本市民健康フェスティバル」の開催(H30.10.21)。後期高齢者歯科口腔健康診査事業の実施により、オーラルフレイルの予防に繋がる。健診者数：454名(H30.4～H31.1まで)
3	熊本市薬剤師会	地域老人会への講師派遣(薬の正しい使い方、ジェネリック医薬品の説明)。各区におけるお薬相談会の実施。
4	熊本県看護協会	熊本市内3支部、天草支部、水俣・芦北支部、人吉・球磨支部、八代支部、宇城支部、上益城支部、菊池支部、有明支部、鹿本支部、阿蘇支部の13支部でショッピングセンター、みちの駅、温泉施設等で健康相談「まちの保健室」を1～2ヶ月に1回開催し、熊本市内3支部で約1500名以上が利用、うち60%以上が60歳代から80歳代である。 看護協会独自で月2回鶴屋で健康相談「まちの保健室」を開催、839名が来所しうち利用者の69%589名が60歳代から90歳代であった。
5	熊本県理学療法士協会	第16回くまもと『PTあ!(ピタ)』っと健康講座は、「学んで実践!健康管理～知って得するからだの話～」をメインテーマに認知症と膝関節痛に関する講演と体操指導が行われ216名の参加があった。 浜線健康パークで開催された県民健康スポーツ教室では、53名の参加者がありグラウンドゴルフを楽しむとともに、体力測定やロコモティブシンドローム予防のための体操指導をおこなった。 熊本市民健康フェスティバルにおいて349名の方の体力計測を行った。
6	熊本県作業療法士会	地域のサロン等で当会作成の「生き生き体操」の紹介や指導し介護予防活動への協力。「生き生き体操」DVDの配布など。
7	熊本市民生委員児童委員協議会	老人会、ささえりあ、老人介護施設等と協力し、各種運動(グラウンドゴルフ・ペタンクなど)を取り入れて、体操教室(くまもと元気くらぶ)や健康に関する講演会を開催した。
8	熊本市老人クラブ連合会	熊本市老人クラブグラウンドゴルフ大会を実施。各区から3チーム(1チーム5人)が参加。
9	熊本市食生活改善推進員協議会	サロン等でバランスのとれた食事等の話しや試食。
10	健康まちづくりを推進する中央区の代表	託麻原校区のサロンで百歳体操を年4回程、40名程が参加。

	団体名	具体的取組
11	健康まちづくりを推進する東区の代表	託麻西校区1,2,3,5,8町内施設で健康体操教室（百歳体操含む）の週1回実施。
12	健康まちづくりを推進する北区の代表	毎月第4日曜日の夕方（夏場は午後6時から、冬場は午後5時から）に、フードパル熊本の外周コースを散歩する「タぐれウォーク」を実施し、毎回15人ほどではじめました。

【行政】

	団体名	具体的取組
1	健康づくり推進課	<p>【全市的取組】 熊本市民健康フェスティバルにおいて、CKD・糖尿病予防のための簡易血糖検査や栄養・歯科等を含めた啓発を実施【9,359名】。 CKD予防講演会を実施【約150名】。 市ホームページや、市役所1階ロビーにて、「世界腎臓デー」「脈の日」「脳卒中予防デー」「糖尿病予防デー」に合わせた各種生活習慣病予防の啓発を実施。</p> <p>【各区保健子ども課における取組】 区役所において各種生活習慣病予防・骨粗鬆症予防教室等を実施。 高齢者サロンなどでの歯科健康教育（8020教室）のほか、校区単位の健康まちづくりによる健康講座、ワークショップを開催。また、地域イベント等で健康チェックコーナーを設置。【H30年度 169回 9,912名(平成30年12月末)】うち、一部では簡易血糖検査を含め生活習慣病予防の啓発を実施。</p>
2	市民病院地域医療連携室	出前講座の実施。
3	中央区総務企画課	地域間や多世代間の交流と高齢者の健康づくりを目的に、中央区民を対象とした中央区グラウンドゴルフ大会を開催した。
4	中央区福祉課	<p>地域包括支援センターと連携し、通いの場の立ち上げ予定地域等に出向き、介護予防や住民主体による通いの場の意義、いきいき百歳体操の啓発等を行った。</p> <p>地域包括支援センターの地域運営協議会や協議体等の場で、地域のリーダー的役割を担う人たちに対して介護予防の意義等啓発を行った。</p> <p>介護予防手帳やリーフレット等を用いて介護予防や健康づくりに関する啓発を行った。</p>
5	中央区保健子ども課	各校区の高齢者サロンや元気くらぶで健康教育（体力測定・低栄養予防、口腔ケア等）および健康相談を実施した。
6	東区福祉課	くまもと元気くらぶの周知・啓発と活動団体からの相談対応 管内公民館が開催するいきいき百歳体操体験会への技術支援
7	東区保健子ども課	<p>サロンの中でロコモやフレイル、生活習慣病予防、がん検診について啓発を実施</p> <p>体力測定を実施し、日頃できるストレッチ等を指導助言</p> <p>敬老会、老人会等で健康教育や体操を実施</p>
8	西区福祉課	西区圏域のCMを対象に、ささえりあと協力し、高齢者の健康づくりについての講演会を2回シリーズで開催した。

	団体名	具体的取組
9	西区保健子ども課	<p>地域主体の高齢者サロンの技術的支援（血圧測定、健康教育、健康相談） 健康教育内容：体力測定、口腔ケア、ロコモ予防、熱中症やヒートショック予防、特定健診・後期高齢者健診・各種がん検診受診勧奨など。</p> <p>校区内の各地区で行われる高齢者サロン同士の交流会（健康体操や講演会）の後方支援。</p> <p>校区単位の健康まちづくり活動で、全世代の健康づくり活動を地域と連携して展開。</p> <p>民協、社協、自治協等で健康づくりに関する情報提供。</p> <p>食生活改善推進員が行う高齢者の健康づくり活動への支援。</p> <p>ロコモ予防教室の開催。</p> <p>食生活改善推進員と協働で行う生活習慣病予防教室</p>
10	南区総務企画課富合まちづくりセンター	<p>地域団体「健康まちづくり推進員会」の活動支援（研修会開催支援、主催イベント「竹の子掘りウォーキング」開催支援）</p>
11	南区福祉課	<p>「くまもと元気くらぶ」の立ち上げ支援を行った。</p>
12	南区保健子ども課	<p>健康まちづくり活動で、全世代の健康づくりを地域と連携して展開した。</p> <p>特定健診・後期高齢者健診の受診勧奨を行った。</p> <p>高齢者サロンや民協会議等地域団体会議にて健康づくりに関する普及啓発を行った。</p> <p>8020推進事業（8020推進員育成）及び8020推進員活動支援を実施した。</p> <p>食生活改善推進員協議会の活動支援（食生活改善推進事業）を行った。</p>
13	北区福祉課	<p>自主活動を行う団体に対し、介護予防やいきいき百歳体操等を利用した通いの場づくりの啓発を行った。</p>
14	北区保健子ども課	<p>地域包括支援センター等と連携し、高齢者サロン等で地域住民に対して、フレイル等を意識した食生活の講話を実施した。</p> <p>健康まちづくりの一環で地域イベント内やグランドゴルフ大会等で健康チェックを実施し、健康まちづくり活動における全世代の健康づくりの推進</p> <p>高齢者サロンや老人会等の地域活動において、介護予防の普及啓発活動（健康教育、健康相談等）を実施した。</p> <p>老人会やサロン等の高齢者の集いの場において、フレイル予防についての健康教育や筋力アップにつながる運動の紹介を統一資料を用いて行った。</p>
15	高齢福祉課	<p>くまもと元気くらぶへの支援や普及拡大に取り組むとともに、フレイル対策に関するリーフレットを購入し、地域の通いの場等で活用した。</p>

テーマ1 元気な高齢者が自らの力を発揮できるまちづくり
(介護予防・生活支援)

(4) 高齢者の健康づくり

令和元年度の具体的取組

【関係機関・団体】

	団体名	具体的取組
1	熊本市医師会	「熊本市健康フェスティバル」の開催(9月下旬～10月中旬頃)
2	熊本市歯科医師会	「熊本市健康フェスティバル」を開催予定。 後期高齢者歯科口腔健康診査事業の健診啓発を働きかける。
3	熊本県看護協会	熊本市内3支部、天草支部、水俣・芦北支部、人吉・球磨支部、八代支部、宇城支部、上益城支部、菊池支部、有明支部、鹿本支部、阿蘇支部の13支部でショッピングセンター、みちの駅、温泉施設等で健康相談「まちの保健室」を1～2ヶ月に1回実施。
4	熊本県栄養士会	「熊本市健康フェスティバル」等での栄養相談実施 サロンでの講和・健康教室の実施 「高齢者とのふれあいシヨ食事会」開催
5	熊本県理学療法士協会	第17回くまもと『PTあ! (ピタ)』つと健康講座において「健康長寿大作戦」をメインテーマに講演と運動指導を予定している(日程:7月15日 会場:パレア)。 第9回県民健康スポーツ教室として、グラウンドゴルフ大会を開催。合わせて、体力測定・体操指導を実施予定。 熊本市健康フェスティバルにおいて体力測定を予定している。
6	熊本市老人クラブ連合会	熊本市老人クラブグラウンドゴルフ大会を実施。各区から3チーム(1チーム5人)の15チームが参加して優勝を競う。
7	熊本市食生活改善推進員協議会	サロン等でバランスのとれた食事等の話しや試食
8	熊本市8020健康づくりの会	高齢者サロン等地域の活動において、「お口の健康体操」や「唾液腺マッサージ」を実施し、誤嚥性肺炎の予防、口腔ケアの必要性について周知する。8020達成者を発掘し、熊本市8020表彰の案内をおこなう。
9	健康まちづくりを推進する北区の代表	タぐれウォークを継続することと、小学校の下校時間に合わせて、児童の見守りと高齢者の健康維持のため「高齢者と保護者の見守りたい」の発足を図りたい。

【行政】

	団体名	具体的取組
1	健康づくり推進課	高齢者サロンなどでの歯科健康教育や健康相談 校区での健康まちづくりの取組み CKDを中心とした生活習慣病予防に関する取組み
2	市民病院地域医療連携室	出前講座の継続
3	中央区総務企画課	地域間や多世代間の交流と高齢者の健康づくりを目的に、中央区民を対象とした中央区グラウンドゴルフ大会を開催する。
4	中央区福祉課	地域包括支援センターや区保健子ども課と連携し、住民や関係団体等に対して、介護予防や住民主体による通いの場の意義、いきいき百歳体操の啓発等を行う。

	団体名	具体的取組
5	中央区保健子ども課	高齢者サロンや元気くらぶで健康教育（体力測定・認知症予防、低栄養予防、口腔ケア等）および健康相談を実施する。 健診（検診）の受診勧奨を行う。
6	東区福祉課	機会を捉え、フレイル予防等介護予防の啓発を行う。
7	東区保健子ども課	サロン、老人会、敬老会等でフレイル予防、ロコモ、生活習慣病予防、がん検診等について健康教育を実施 体力測定を実施し、必要な助言指導を継続
8	西区福祉課	西区圏域のCMを対象に、ささえりあと協力し、高齢者の健康づくりについての講演会を開催し、重度化防止に繋げる。
9	西区保健子ども課	地域主体の高齢者サロンの技術的支援（血圧測定、健康教育、健康相談） 校区内の各地区で行われる高齢者サロン同士の交流会（健康体操や講演会）の後方支援 校区単位の健康まちづくり活動で、全世代の健康づくり活動を地域と連携して展開。 民協、社協、自治協等で健康づくりに関する情報提供。 食生活改善推進員が行う高齢者の健康づくり活動への支援 ロコモ予防教室の開催 食生活改善推進員と協働で行う生活習慣病予防教室
10	南区総務企画課富合まちづくりセンター	地域団体「健康まちづくり推進員会」の活動支援（研修会開催支援、主催イベント「竹の子掘りウォーキング」開催支援）
11	南区福祉課	前年度に引き続き、「くまもと元気くらぶ」の立ち上げ支援を行う。
12	南区保健子ども課	健康まちづくり活動における全世代の健康づくりの推進 特定健診・後期高齢者健診の受診勧奨 高齢者サロンや民協会議等地域団体会議における健康づくりに関する普及啓発 8020推進事業（8020推進員育成）及び8020推進員活動支援の実施 食生活改善推進員協議会の活動支援（食生活改善推進事業）
13	北区福祉課	自主活動を行う団体に対し、介護予防やいきいき百歳体操等を利用した通いの場づくりの啓発を行う。
14	北区保健子ども課	老人会やサロン等の高齢者の集いの場において、フレイル予防についての健康教育や筋力アップにつながる運動の紹介を統一資料を用いて継続的に実施する。
15	高齢福祉課	引き続き、「くまもと元気くらぶ」の普及拡大を図るとともに、地域支え合い型サービス及び短期集中予防サービスの普及拡大する等、高齢者の状態に応じた多様な健康づくりと介護予防の場の創設に努める。

テーマ1 元気な高齢者が自らの力を発揮できるまちづくり
(介護予防・生活支援)

(5) 地域の人材の発掘・育成と活用

平成30年度中の取組状況

【関係機関・団体】

	団体名	具体的取組
1	熊本県言語聴覚士会	介護職員定着支援(口腔ケア、コミュニケーション障害とその対応)講義やグループワークを2回実施し、18名が参加。
2	熊本市老人クラブ連合会	健康づくり講演会、市老連大研修会、校区会長研修会
3	熊本市8020健康づくりの会	地域において、8020運動の推進につながる人材を、各区役所保健子ども課で育成する「8020推進員育成講座」に紹介した。
4	健康まちづくりを推進する西区の代表	福祉ボランティアの育成、マンパワーの増強。

【行政】

	団体名	具体的取組
1	熊本市シルバー人材センター	○熊本県生涯現役促進地域連携協議会の介護補助者養成研修を受託し、シニア介護アシスタント養成講座を実施した(実習を含め24日間、受講者52名)。 ○来熊外国人のおもてなしに活動できる観光案内ボランティアを発掘・育成するため助成を受けて高齢者のための英会話講座を実施した。(受講者15名)
2	健康づくり推進課	8020表彰(8020達成者への表彰)【H30年度 97名】
3	中央区保健子ども課	8020推進員・食生活改善推進員を養成し、校区イベント等で活動の場の提供と支援を行った。
4	東区福祉課	認知症サポートリーダーの養成、交流会開催等の活動支援 介護予防に取り組むボランティアの交流会を開催(2回/年) ボランティア活動体制整備に関する検討(東区地域包括ケアシステム推進ワーキング会議)
5	東区保健子ども課	サロンに参加している元気高齢者へ、健康まちづくり推進員のPRを行い、養成講座受講につなげ、推進員を育成 健康づくりボランティア(8020、食改、健まち等)の養成、活動支援 東区ボランティア交流会の開催により、ボランティア間のつながりづくりを支援
6	西区福祉課	介護予防サポーター交流会を開催した。交流会では、サポーターが関心のある活動についてアンケートをとりグループワークを行った。通いの場の支援を希望されたサポーターには、元気くらの体力測定に協力してもらい、介護予防の普及・啓発活動を希望されたサポーターには、今後の活動の方向性を決めるために打ち合わせ会を行った。
7	西区保健子ども課	ケアマネ研修会にて、糖尿病についての基礎知識や重症化予防に向けての健康教育を実施。 ボランティアの育成(食生活改善推進員、8020推進員)
8	南区総務企画課 幸田まちづくりセンター	幸田まちづくりサポーターの発掘

	団体名	具体的取組
9	南区保健子ども課	ボランティアの養成および地域における活動支援（8020推進員・食生活改善推進員）
10	北区総務企画課北部まちづくりセンター	担い手育成事業（自治協地域創生研修プラン）
11	北区総務企画課龍田まちづくりセンター	担い手育成事業（自治協地域創生研修プラン）
12	北区福祉課	介護予防サポーター養成講座の開催協力を行った。 北1地域包括支援センター圏域内で定期的に行われる介護予防会議に出席し、合同で介護予防サポーター養成講座を開催した。
13	北区保健子ども課	8020推進員・食生活改善推進員を養成し、活動の場の提供と支援を行った。 介護予防サポーター養成講座の参加募集の周知。
14	高齢福祉課	介護保険サポーター養成講座や認知症サポーター養成講座を実施した。 また、地域包括支援センターによる地域の生活支援の担い手の確保や認知症高齢者への声掛け訓練等の実施により、地域の人材育成を図った。

テーマ1 元気な高齢者が自らの力を発揮できるまちづくり
(介護予防・生活支援)

(5) 地域の人材の発掘・育成と活用

令和元年度の具体的取組

【関係機関・団体】

	団体名	具体的取組
1	熊本県言語聴覚士会	介護士を対象とした嚥下障害への対応及び予防を目的とした研修会を継続して実施していきたい。
2	熊本市老人クラブ連合会	健康づくり講演会、市老連大研修会、校区連合会長研修会を実施する。
3	熊本市8020健康づくりの会	地域において、8020運動の推進につながる人材を、各区役所保健子ども課で育成する「8020推進員育成講座」に紹介する。

【行政】

	団体名	具体的取組
1	健康づくり推進課	8020達成者の発掘及び歯科啓発への活用。
2	中央区福祉課	中央区介護予防サポーター交流会を実施する。 地域包括支援センター等と連携し、介護予防サポーターの地域での活動の機会を拡げる。
3	中央区保健子ども課	8020推進員・食生活改善推進員を養成し育成する。 校区イベント等で8020推進員・食生活改善推進員の活動の場を設け支援する。
4	東区福祉課	認知症サポートリーダーの養成、交流会開催等の活動支援。 介護予防に取り組むボランティアの交流会を開催(2回/年)。 ボランティア活動体制整備に関する検討。(東区地域包括ケアシステム推進ワーキング会議)
5	東区保健子ども課	地域の元気高齢者へ健康ボランティアについてPRを行い、養成講座への参加につなぐ。 育成した人材を地域組織へ紹介し、サロンやイベント、行事での活動を支援。 健康づくりボランティア(8020、食改、健まち等)の養成、活動支援。 東区ボランティア交流会の開催により、ボランティア間のつながりづくりを支援。
6	西区福祉課	介護予防サポーター養成講座の受講者を増やしサポーターを増やす。交流会を開催し、サポーター間の交流を図り、組織化に繋げる。介護予防の普及・啓発に向け、サポーターとの打ち合わせ会を行う。サポーターの活動希望を把握し、地域の活動につなげる。
7	西区保健子ども課	ボランティアの育成(食生活改善推進員、8020推進員)
8	南区総務企画課 幸田まちづくりセンター	幸田まちづくりサポーターの発掘
9	南区保健子ども課	ボランティアの養成および地域における活動支援。(8020推進員・食生活改善推進員)
10	北区保健子ども課	ボランティアの養成および地域における活動支援。(8020推進員・食生活改善推進員) 復興自治推進経費事業により、見守りボランティアの養成と活動支援。
11	高齢福祉課	引き続き、介護保険サポーター及び認知症サポーター養成講座の開催や、地域包括支援センターによる地域の生活支援の担い手の確保に取り組むとともに、地域支え合い型サービスや認知症高齢者への声掛け訓練等における活躍の場の提供により、地域の人材育成を図る。

テーマ1 元気な高齢者が自らの力を発揮できるまちづくり
(介護予防・生活支援)

(6) 地域や地域の高齢者のニーズの把握や分析

平成30年度中の取組状況

【関係機関・団体】

	団体名	具体的取組
1	健康まちづくりを推進する北区の代表	「西里健康まちづくりアンケート」を実施し、今後の西里校区の健康まちづくりに活かすために実施しました。

平成30年度中の取組状況

【行政】

	団体名	具体的取組
1	中央区福祉課	人口統計や各種調査、地域包括支援センターへのヒヤリング、自立支援型地域ケア会議や協議体等の各種会議に出席し、中央区の現状把握と課題整理を行った。
2	中央区保健子ども課	自治協や民協、地域ケア会議、家庭訪問等を通してニーズを把握し、地域包括支援センターや訪問看護ステーション等との情報交換会を行い情報共有を図った。
3	東区福祉課	協議体や自立支援型地域ケア会議、事業所連絡会等を通じて、地域課題を把握している
4	東区保健子ども課	ささえりあ主催会議で、地域組織、関係機関スタッフでグループワークを実施 健軍校区地域座談会(年3回)の実施 地域包括ケアシステム構築に向けた話し合い まちづくりセンター単位の実務者連絡会、サロン運営に関する会議を活用して把握
5	南区保健子ども課	地域包括支援センター(生活支援コーディネーター)が行ったニーズ調査をもとに、まちづくりセンターや福祉課等の関係機関とともに、地域に住む高齢者のニーズや地域課題を共有化しているところ。
6	北区福祉課	地域包括支援センターが主催する会議で地域のニーズを把握した。
7	北区保健子ども課	健康まちづくりの一環として、20代以上のあらゆる世代に対し健康意識調査を保健科学大と協働で実施した。
8	高齢福祉課	生活支援コーディネーターの活動等を通して、地域や地域の高齢者のニーズ把握や分析を行った。また、地域包括支援センターが開催する地域ケア会議や各区地域包括ケアシステム推進会議を通して地域課題を把握しつつ、解決に向けた議論を行った。

テーマ1 元気な高齢者が自らの力を発揮できるまちづくり
(介護予防・生活支援)

(6) 地域や地域の高齢者のニーズの把握や分析

令和元年度の具体的取組

【関係機関・団体】

	団体名	具体的取組
1	熊本市民生委員児童委員協議会	生活支援コーディネーター、自治協などと協力し合い、高齢者のニーズを把握するとともに、生活支援体制の構築に取り組む。とくに、見落としがちな生活課題に目を向ける。

【行政】

	団体名	具体的取組
1	中央区福祉課	地域包括支援センターが主催する自立支援型地域ケア会議や課題検討型地域ケア会議、協議体、区地域包括ケアシステム推進会議を通して、地域課題の把握、分析を行い、解決策を検討する。
2	中央区保健子ども課	自治協や民児協、地域ケア会議、家庭訪問等を通してニーズを把握し関係機関等に繋ぐ。
3	東区福祉課	協議体や自立支援型地域ケア会議、事業所連絡会等を通じて、地域課題を把握している
4	東区保健子ども課	まちづくり担当実務者連絡会やささえりあ主催会議に継続参加し、引き続き協議
5	西区保健子ども課	地域包括支援センター協議体や社会福祉協議会会議へ参加し、地域の高齢者支援の現状・課題・解決にむけた協議に参加。
6	南区保健子ども課	平成30年度に引き続き、関係機関と高齢者のニーズ把握や地域課題の共有化、具体的活動についてともに検討していく。
7	北区福祉課	地域包括支援センターと連携し、情報の共有や地域のニーズを把握する。
8	高齢福祉課	引き続き、生活支援コーディネーターの活動等による把握とともに、地域包括支援センターが開催する地域ケア会議の開催や各区の地域包括ケアシステム推進会議を通して、地域課題やニーズの把握を行う。

テーマ1 元気な高齢者が自らの力を発揮できるまちづくり
(介護予防・生活支援)

(7) 生活支援の充実(インフォーマルサービスの創設)

平成30年度中の取組状況

【関係機関・団体】

	団体名	具体的取組
1	熊本市シルバー人材センター	○1.高齢者世帯の軽易な家庭内業務を行う“サポート事業”5,000件、 2.一人暮らしや外出困難な高齢者世帯への支援のため病院同行や買い物代行を行う“お出かけサポーター事業”140件等を実施した。 ○高齢となった居住者が施設等に入居後空き家となった物件の除草、剪定、消毒作業等を受注し、実施した。(230件)
2	健康まちづくりを推進する中央区の代表	帯山校区2町内自治会のお助け隊は庭の除草、買い物代行などを常時実施。

【行政】

	団体名	具体的取組
1	中央区福祉課	生活支援コーディネーターの活動支援を通して地域の現状把握を行った。 生活支援コーディネーターと協働で生活支援サービスに関する情報交換会を行った。
2	東区福祉課	移送支援(訪問型サービスD)の立ち上げに向けた相談対応(託麻南校区・託麻北校区・山ノ内校区)
3	東区保健子ども課	託麻北の縁側事業(把握程度)
4	北区福祉課	地域包括支援センター(生活支援コーディネーター)を通して、現状把握を行った。
5	高齢福祉課	これまで兼務であった生活支援コーディネーターを平成30年度より専任化し、地域における生活支援サービスや支え合いの体制づくりに対する支援体制を強化した。 住民主体による新たな生活支援サービスの創設を支援した。

テーマ1 元気な高齢者が自らの力を発揮できるまちづくり
(介護予防・生活支援)

(7) 生活支援の充実(インフォーマルサービスの創設)

令和元年度の具体的取組

【関係機関・団体】

	団体名	具体的取組
1	熊本市民生委員児童委員協議会	ニーズを把握したうえで地域の社会資源について協議し、マップを作成するなど具体的に検討し、サービスとして提供できればと考えている。
2	健康まちづくりを推進する東区の代表	町内の高齢者、障害者への生活支援「お困りごとお助け隊」(仮称)計画・実施(有償ボランティア)

【行政】

	団体名	具体的取組
1	中央区福祉課	生活支援コーディネーターの活動支援を通して生活支援サービス創出や充実に向けて取り組む。
2	東区福祉課	実施に向けた相談対応 先行取組の広報を通じた啓発 他地域での立ち上げに向けた相談対応
3	北区福祉課	地域包括支援センター(生活支援コーディネーター)を通して、現状把握を行う。
4	高齢福祉課	引き続き、生活支援コーディネーターや各区と連携し、住民主体による「地域支え合い型サービス」への支援と普及を図り、地域における多様な生活支援サービスの創出に取り組む。

テーマ1 元気な高齢者が自らの力を発揮できるまちづくり
(介護予防・生活支援)

(8) 世代間交流の促進

平成30年度中の取組状況

【関係機関・団体】

	団体名	具体的取組
1	熊本県老人保健施設協会	各会員施設において、ナイストライやインターンシップの受け入れを実施。事業やイベントなどにおいて、地域の学生などをボランティアとして受け入れ、交流の場を設けている。
2	熊本市社会福祉協議会	中学生をジュニアヘルパーとして養成(実施中学校30校、登録者数394)し、地域の一人暮らし等の高齢者宅を訪問し、声掛け・話し相手として活動を行う。
3	熊本市シルバー人材センター	○小学校6校で1～2年生児童を対象に、15名の会員がフッ化物洗口業務を実施し、うがいの指導を行った。 ○託児業務等の実施により、現役世代のサポートを行った(65件)
4	熊本市老人クラブ連合会	幼稚園や小学校で伝承・・・竹馬、コマ、紙飛行機、羽子板等
5	健康まちづくりを推進する中央区の代表	帯山西校区では帯西まつりの中で中高年齢者数名が小学生等に「伝承遊び」を実施
6	健康まちづくりを推進する東区の代表	小学校の体育館で地域の高齢者や自治会役員等と木工教室、竹とんぼづくり、お手玉づくり等を通して交流
7	健康まちづくりを推進する北区の代表	平成29年度と同規模の「運動会」と「夏まつり」と「第3回健康ウォーキング大会」を実施。

【行政】

	団体名	具体的取組
1	中央区総務企画課	地域間や多世代間の交流と高齢者の健康づくりを目的に、中央区民を対象とした中央区グラウンドゴルフ大会を開催した。
2	中央区保健子ども課	高齢者サロンと育児サークルの合同開催。 高齢者と高校生の交流会。
3	東区福祉課	多世代参加型の認知症声かけ訓練開催の後方支援(小中学校への認知症サポーター養成講座開催の勧奨通知発送、講座開催、広報) 校区座談会の開催支援
4	東区保健子ども課	小学校PTAバザーで小学生との交流を実施 健軍校区での子育て支援センターを活用した元気くらの運営、いきいき百歳体操後にせきれい保育園園児と元気くらぶ参加者と交流 子育てネットワークの課題として取り組み中
5	西区総務企画課	西区フェスタのコンテンツの1つとして昔遊び体験を実施。地域の高齢者を招き、お手玉やペーパー竹とんぼなどを子どもたちの前で実演し、子どもたちにも体験してもらい、世代間交流の促進として開催。
6	南区総務企画課 幸田まちづくりセンター	ささえりあ、民児協等と高齢者を講師とした体験プログラムを核とする新規事業についての打ち合わせ
7	南区総務企画課 富合まちづくりセンター	富合地域カフェの開催(地域ボランティアによる手作りランチを楽しみながら集い、多世代の住民が顔見知りになる場を設ける)
8	南区保健子ども課	健康まちづくり活動において全世代を対象に地域イベントを開催した。

	団体名	具体的取組
9	北区保健子ども課	健康まちづくりの一環で、イベント内で異世代交流を目的としたゲームや体操を実施した。 高齢者と保育園児の交流を目的とした福祉レクリエーションの支援を行った。
10	高齢福祉課	地域の中学生が高齢者宅を訪問し、話し相手や簡単なお手伝い等をおとした見守り活動と世代間の交流を図るジュニアヘルパー事業を実施した。

テーマ1 元気な高齢者が自らの力を発揮できるまちづくり
(介護予防・生活支援)

(8) 世代間交流の促進

令和元年度の具体的取組

【関係機関・団体】

	団体名	具体的取組
1	熊本市社会福祉協議会	ジュニアヘルパー養成事業の実施
2	熊本市老人クラブ連合会	幼稚園や小学校で竹馬、コマ、紙飛行機、羽子板の伝承実施予定。
3	健康まちづくりを推進する中央区の代表	託麻原、帯山、帯山西校区のまつりなどで中高年者と子供たちの多世代交流を図る。
4	健康まちづくりを推進する東区の代表	小学校の育成クラブの部屋をお借りして多世代間の交流の場づくりの計画中(高齢者や子育て中のお母さん他の交流の場づくり)

【行政】

	団体名	具体的取組
1	中央区総務企画課	地域間や多世代間の交流と高齢者の健康づくりを目的に、中央区民を対象とした中央区グラウンドゴルフ大会を開催する。
2	中央区保健子ども課	校区子育てネットワークや高齢者ネットワークの取り組みの中で世代間交流事業について検討し、実施できる体制を継続する。
3	東区福祉課	多世代参加型の認知症声かけ訓練開催の後方支援(小中学校への認知症サポーター養成講座開催の勧奨通知発送、講座開催、広報) 校区座談会の開催支援
4	東区保健子ども課	校区内の保育園とサロン参加者との交流会を検討中 校区子育て支援ネットワーク会議やまちづくり担当実務者連絡会等の会議で、具体的な取り組みにつなげる予定
5	南区総務企画課 幸田まちづくりセンター	高齢者を講師とした体験プログラムを核とする「世代間交流促進事業」に取り組む
6	南区総務企画課 富合まちづくりセンター	富合地域カフェの開催(地域ボランティアによる手作りランチを楽しみながら集い、多世代の住民が顔見知りになる場を設ける)
7	南区保健子ども課	健康まちづくり活動における全世代を対象にした地域イベント
8	北区保健子ども課	健康まちづくりの一環で、イベント内で異世代交流を目的としたゲームや体操を実施した。 高齢者と保育園児の交流を目的とした福祉レクリエーションの支援を行った。
9	高齢福祉課	引き続き、ジュニアヘルパー事業を実施し、地域における世代間交流とボランティア人材の育成を図る。

テーマ1 元気な高齢者が自らの力を発揮できるまちづくり
(介護予防・生活支援)

(9) 高齢者相談体制の充実

平成30年度中の取組状況

【関係機関・団体】

	団体名	具体的取組
1	熊本県看護協会	熊本市内3支部、天草支部、水俣・芦北支部、人吉・球磨支部、八代支部、宇城支部、上益城支部、菊池支部、有明支部、鹿本支部、阿蘇支部の13支部でショッピングセンター、みちの駅、温泉施設等で健康相談「まちの保健室」を1～2ヶ月に1回開催し、熊本市内3支部で約1500名以上が利用、うち60%以上が60歳代から80歳代である。 看護協会独自で月2回鶴屋で健康相談「まちの保健室」を開催、839名が来所しうち利用者の69%589名が60歳代から90歳代であった。
2	熊本市社会福祉協議会	地域の中で困りごとを抱えた住民のSOSを身近な地域で素早くキャッチすることができるよう、「心配ごと相談所」を6カ所設置(開設日は個々に異なる)
3	熊本市シルバー人材センター	○就業を希望する定年退職者や退職予定者や会員のうち未就業者の者を対象に、民間事業者の参加も募り合同就業相談会を開催した(4回、343名参加)。 ○熊本市及び熊本労働局から受託し市役所1階フロアに高齢者無料職業相談コーナーを平成30年9月に開設した。 ○高齢者相談室を常設しており、高齢者の就業や健康、生活等の相談に対して情報提供を行っている。(249件)
4	熊本市老人クラブ連合会	高齢者相談事業・・・新町健康センターで月～金の10:00～16:00の間、専門相談員による高齢者の相談を実施。

【行政】

	団体名	具体的取組
1	こころの健康センター	電話相談等で、市民からの相談に対応
2	市民病院地域医療連携室	総合受付近くの分かりやすい場所に設置された総合相談窓口にて相談対応
3	中央区保健子ども課	所内や高齢者サロン等で健康相談を実施した。
4	西区保健子ども課	赤ちゃん訪問や障害者訪問時、家族に高齢者がいるとき等相談時対応し必要時福祉課へつなぐ
5	南区保健子ども課	地域包括支援センター等関係機関と連携して相談支援を行った。
6	北区福祉課	地域包括支援センター等関係機関と連携し、相談支援を行った。
7	高齢福祉課	平成30年度に機能強化した地域包括支援センターの活動を支援するとともに、地域包括支援センターを後方支援する基幹型地域包括支援センターの検討を進めた。

テーマ1 元気な高齢者が自らの力を発揮できるまちづくり
(介護予防・生活支援)

(9) 高齢者相談体制の充実

令和元年度の具体的取組

【関係機関・団体】

	団体名	具体的取組
1	熊本市薬剤師会	薬局内での本人及び家族との相談が気軽にできるようにする。
2	熊本県看護協会	熊本市内3支部、天草支部、水俣・芦北支部、人吉・球磨支部、八代支部、宇城支部、上益城支部、菊池支部、有明支部、鹿本支部、阿蘇支部の13支部でショッピングセンター、みちの駅、温泉施設等で健康相談「まちの保健室」を1～2ヶ月に1回実施
3	熊本市社会福祉協議会	「心配ごと相談所」の設置
4	熊本市老人クラブ連合会	高齢者相談事業・・・新町健康センターで月～金の10:00～16:00の間、専門相談員による高齢者相談を予定。

【行政】

	団体名	具体的取組
1	こころの健康センター	電話相談等で、市民からの相談に対応
2	市民病院地域医療連携室	新病院では患者サポートセンター設置予定
3	中央区保健子ども課	福祉課や地域包括支援センター等の関係機関と連携を図りながら所内や高齢者サロン等で健康相談を実施する。
4	南区保健子ども課	地域包括支援センター等関係機関との連携
5	北区福祉課	地域包括支援センター等関係機関との連携。
6	高齢福祉課	引き続き、地域包括支援センターの活動を支援するとともに、地域包括支援センターを後方支援する基幹型地域包括支援センターの検討を進める。

テーマ1 元気な高齢者が自らの力を発揮できるまちづくり
(介護予防・生活支援)

(10) 介護予防活動や生活支援等の情報提供

平成30年度中の取組状況

【関係機関・団体】

	団体名	具体的取組
1	熊本県理学療法士協会	広報誌「かくどけい」を年3回発行、地域包括支援センター等に配付する共に当会ホームページに掲載し、介助方法や介護予防に関する情報を提供した。 熊本シティFM放送に2度出演し、「高齢者のフレイルについて」「姿勢について」をテーマに健康に関する情報提供を行った。
2	熊本県作業療法士会	地域のサロン等で当会作成の「生き生き体操」の紹介や指導し介護予防活動への協力。「生き生き体操」DVDの配布など。

【行政】

	団体名	具体的取組
1	中央区福祉課	介護予防手帳やリーフレット等を用いて介護予防や健康づくりに関する啓発を行った。
2	中央区保健子ども課	校区での健康ウォーキングやサロンで介護予防に係る情報提供を行った。 介護予防のため、8020推進員等による口腔ケア推進活動と食生活改善推進員による望ましい食生活の普及活動により情報を提供した。
3	東区福祉課	管内ささえりあと地域リハ広域支援センター、行政で組織する介護予防の会にて、東区通いの場一覧を作成し、啓発や相談時に活用
4	東区保健子ども課	高齢者サロンにて介護予防手帳を交付し情報提供 イベント時ささえりあによるブースを要請
5	西区福祉課	介護予防サポーター交流会では「介護予防について」、元気くらぶ交流会では「運動の効果、継続の重要性等について」ミニ講座を行った。介護認定の非該当者へ運動型通所サービス(短期)を紹介するためささえりあと連携を図った。市政だよりで元気くらぶの紹介を年5回行った。
6	西区保健子ども課	地域主体の高齢者サロンの技術的支援(血圧測定、健康教育、健康相談)
7	南区総務企画課 幸田まちづくりセンター	ささえりあと協働にて情報提供用の動画作成
8	南区保健子ども課	高齢者サロンや民協会議等地域団体会議にて介護予防活動に関する情報提供を行った。 熊本市社会福祉協議会からの依頼で、サロン支援者に対し高齢者の食の特徴や食品衛生についての研修会を行った。
9	北区福祉課	介護予防事業の啓発活動として、サロンや地域包括センターの会議でくまもと元気くらぶの事業説明や情報提供を行った。
10	高齢福祉課	「くまもと元気くらぶ」の普及拡大を図るとともに、通いの場において、フレイル対策に関するリーフレットの配布を行った。生活支援コーディネーターを中心に、地域資源を整理した地域ケア計画の更新を行い、地域資源の把握に努め、関係機関との共有を図った。

テーマ1 元気な高齢者が自らの力を発揮できるまちづくり
(介護予防・生活支援)

(10) 介護予防活動や生活支援等の情報提供

令和元年度の具体的取組

【関係機関・団体】

	団体名	具体的取組
1	熊本県理学療法士協会	広報誌「かくどけい」を年2回発行、地域包括支援センター等に配付する共に当会ホームページに掲載し、介護予防や健康情報を提供する。熊本シティFMに出演し健康情報の提供を行う(2回予定)。
2	熊本市シルバー人材センター	○今年度中に介護保険総合事業として生活援助型訪問サービス事業へ参入するための準備に取り組む。 ○引き続きシニア介護アシスタント養成講座を実施する。 ○引き続きLSA業務を実施し、高齢者の生活支援の充実に取り組む。
3	健康まちづくりを推進する西区の代表	介護予防活動や生活支援等の情報提供、地域団体や老人福祉施設、地域包括支援センター等の情報共有体制の構築

【行政】

	団体名	具体的取組
1	中央区福祉課	地域包括支援センターやまちづくりセンターと連携し、介護予防活動や生活支援等の情報について地域活動や会議、熊本市のLINEを活用して発信していく。
2	中央区保健子ども課	地域での会議や研修、イベント等でフレイル予防等の必要な情報を提供する。 8020推進員や食生活改善推進員等のボランティアが、介護予防の普及啓発を行う。
3	東区福祉課	通いの場一覧の更新、活用
4	西区福祉課	「くまもと元気くらぶ」や「サロン」等でフレイル予防についての健康教育や介護予防の情報提供を行う。介護予防サポーターと「介護予防普及啓発活動」を行う。市政だよりで「元気くらぶ」の広報を行う。介護認定の非該当者へ運動型通所サービス(短期)を紹介するためささえりと連携を図る。
5	西区保健子ども課	地域主体の高齢者サロンの技術的支援(血圧測定、健康教育、健康相談)
6	南区保健子ども課	高齢者サロンや民協会議等地域団体会議における情報提供
7	北区福祉課	地域サロン等への介護予防事業の啓発活動
8	高齢福祉課	引き続き、「くまもと元気くらぶ」及び「地域支え合い型サービス」の普及拡大を図るとともに、地域資源の把握に努め、地域ケア計画の更新を行っていく。

テーマ2 医療と介護が充実し、在宅（地域）で生活する市民が安心して暮らせるまちづくり
（在宅医療・介護連携）

（1）切れ目のない在宅医療と在宅介護の連携推進

平成30年度中の取組状況

【関係機関・団体】

	団体名	具体的取組
1	熊本市医師会	熊本市医療政策課と居宅介護支援事業者協議会（熊本市医師会在宅ケアセンター内）の共催で、「居宅・包括連絡会議」等を開催（6月22日於 熊本市医師会館 他） 「在宅医療委員会」を設置し、在宅医療に関する課題の抽出や解決策について検討（4月9日於 熊本市医師会館 他5回）
2	熊本県精神科科協会	精神科病院13、一般科病院15が連携し、課題となっているBPSD身体合併について実際の事例を通して、連携の課題を迫りするための検討会の開催。また携わる医療関係者を対象に全体研修を開催した。参加者70人。
3	熊本市薬剤師会	薬剤師の在宅訪問服薬指導の実施及び多職種との連携
4	熊本県看護協会	在宅医療と在宅介護の連携推進のための研修会等開催 熊本市5区の地域包括ケアシステム推進会議に5区の訪問看護ステーションから参加 1事例（家族参加）を通して病院・在宅の立場からのリレートークを開催（参加者78名） 地域包括ケアシステムの構築に向けて～熊本市保健師1名、医療機関看護師2名の話題提供で「再入院を防いで在宅で暮らす」のテーマでグループ討議開催（熊本市内3支部45名） 介護事業所に勤務する看護職の研修（5日間31名参加） 介護福祉会へ講師を依頼し研修開催（参加45名）
5	熊本県作業療法士会	介護支援専門員協会と自立支援をテーマとした研修会を共同開催。介護福祉士会と生活支援に関する研修会の共同開催。
6	熊本県言語聴覚士会	食機能連携ユニットパスを活用し、熊本市内の施設と病院間での情報共有に用いた。
7	熊本県介護支援専門員協会熊本市支部	ケアマネ（協会）と医師（熊本県保険医協会）で会議を開催した。（約20名参加）
8	熊本県老人保健施設協会	各会員施設が生活圏域内の事業所や医療機関の多職種と集まり、定期的に情報交換や勉強会等を開催している。
9	健康まちづくりを推進する西区の代表	地域包括ケアシステムに対する理解と情報の共有

【行政】

	団体名	具体的取組
1	医療政策課	医療機関看護師が在宅療養の実際を知るための同行訪問看護研修を実施 熊本地域在宅医療介護連携体制検討会に5名の専門職種を増員し、在宅医療と介護の連携強化
2	中央区福祉課	地域包括支援センターの活動支援を通して、医療介護連携の現状や課題の把握を行った。 地域包括支援センター主催の地域ケア会議の開催支援及び研修開催支援を行った。
3	中央区保健子ども課	地域ケア（課題検討型、自立支援型）会議に参加し、役割分担・連携のもとに必要な支援を実施した。

	団体名	具体的取組
4	東区福祉課	自立支援型地域ケア会議への参加
5	西区福祉課	包括等で実施されている在宅療養支援ネットワーク等への参加協力を行う。
6	西区保健子ども課	地域の在宅療養支援ネットワーク連絡会に参加し、情報共有
7	南区福祉課	多職種連携会議への職員（保健師）の派遣した。
8	北区福祉課	地域包括支援センター主催の多職種連携会議等に参加し、情報の共有を行った。
9	北区保健子ども課	北区地域包括ケアシステム推進会議の企画・運営を福祉課と協力し、開催した。
10	市民病院地域医療連携室	入院決定時や入院後すぐに、ケアマネジャーや障害福祉相談員と情報を共有。 退院前カンファレンスの実施。 院内看護師が在宅医療の実際知るために訪問看護研修会参加。

テーマ2 医療と介護が充実し、在宅（地域）で生活する市民が安心して暮らせるまちづくり
（在宅医療・介護連携）

（1）切れ目のない在宅医療と在宅介護の連携推進

令和元年度の具体的取組

【関係機関・団体】

	団体名	具体的取組
1	熊本市医師会	「在宅医療委員会」を設置し、在宅医療に関する課題の抽出や解決策について検討。（4月9日 於 熊本市医師会館 他5回）
2	熊本県精神科協会	課題となっているBPSD身体合併について実際の事例を通して、連携の課題を迫るための検討会を連携する病院の数を増やして実施する。在宅医療体制の充実と介護との連携について事業を通じ研究していく。
3	熊本市薬剤師会	薬剤師の在宅訪問服薬指導の実施及び多職種との情報共有、連携を促進。
4	熊本県看護協会	「医療的ケア児を地域で育てるための支援ネットワークについて考える」のリレートーク開催予定 その他、在宅医療と在宅介護の連携推進のための研修企画中
5	熊本県栄養士会	「栄養ケア寄り添い型ソリューション事業」の拡充、多職種との合同研修会を実施し顔の見える関係性を作っていく
6	熊本県作業療法士会	介護支援専門員協会や介護福祉士会との研修会の開催。自立支援型ケアプラン作成に向けたたり八職派遣事業への協力と人材育成。
7	熊本県言語聴覚士会	食機能連携ユニットパスを用いて、嚥下、栄養、口腔内の除隊について情報共有を促す。
8	熊本県介護支援専門員協会熊本市支部	多職種における連携に関する研修会等を開催予定
9	熊本県老人保健施設協会	各会員施設が生活圏域内の事業所や医療機関の多職種と集まり、定期的に連携・協働に関する情報交換や勉強会等を実施。

【行政】

	団体名	具体的取組
1	医療政策課	H30年度の医療機関看護師の同行訪問看護研修を振り返り、より医療機関看護師が研修に参加しやすくなるように周知方法等を変更した上で継続して実施。
2	市民病院地域医療連携室	入院決定時や入院後すぐに、ケアマネジャーや障害福祉相談員と情報を共有。 退院前カンファレンスの実施。 院内看護師が在宅医療の実際知るために訪問看護研修会参加。
3	中央区福祉課	地域包括支援センターの活動支援を通して、医療介護連携の現状や課題の把握を行う。
4	中央区保健子ども課	地域ケア会議に必要時に参加し、役割分担のもとに必要な支援を行う。
5	東区福祉課	自立支援型地域ケア会議への参加
6	西区福祉課	ネットワークが立ち上がっていないささえりあに対して、働きかけ及び支援を行う。
7	西区保健子ども課	地域の在宅療養支援ネットワーク連絡会に参加し、情報共有
8	南区福祉課	前年度に引き続き、多職種連携会議への職員（保健師）の派遣する。

	団体名	具体的取組
9	北区福祉課	地域包括支援センター主催の多職種連携会議等に職員を派遣し、情報の共有を行う。
10	北区保健子ども課	北区地域包括ケアシステム推進会議の運営等について福祉課と協力し、実施する。

テーマ2 医療と介護が充実し、在宅（地域）で生活する市民が安心して暮らせるまちづくり
（在宅医療・介護連携）

（2）地域の在宅医療・介護を担う人材の育成

平成30年度中の取組状況

【関係機関・団体】

	団体名	具体的取組
1	熊本市医師会	熊本市医師会看護専門学校において、看護師・准看護師を養成 熊本在宅ドクターネットとの共催により「在宅医療研修会」を開催 （7月26日 於 熊本市医師会館 他4回）
2	下益城郡医師会	医療・介護従事者向けの研修会を実施 在宅医療プレミアムセミナー「本音で語る褥瘡対策」 参加者：46名 （医師12名 その他職種34名） 第2回在宅医療プレミアムセミナー「実践！褥瘡予防 やってみよう体験学習」～マットレスの選択法、栄養・外来指導、体位変換や背抜き～ 参加者：106名（医師8名 その他職種98名）の2回実施した。
3	熊本市歯科医師会	市からの委託により「障がい児（者）口腔ケア地域リーダー育成事業」の実施。（年度2か所）
4	熊本県看護協会	訪問看護師養成研修会（実習も含め12日間実施：34名参加） 訪問看護師のスキルアップ研修（3/17開催予定） 訪問看護管理者研修（2/9開催：45名参加） 医療機関看護師の訪問看護同行訪問研修（1日：今年度12名参加） 多様な住まいの場における療養・看取りケア研修 （地域と熊本市の2ヶ所で看護職1日、介護職2日 看護職：51名、介護職：19名、その他医療職：7名 延160名が参加） 介護事業所に勤務する看護職の研修（5日間：31名参加）
5	熊本県理学療法士協会	介護支援専門員受験対策講座には22名の参加があった。 熊本県作業療法士会、熊本県言語聴覚士会と協力し『自立支援プロジェクト人材育成研修会』を3回開催し、300名を超える参加者を得た。 熊本県作業療法士会、熊本県言語聴覚士会と協力し「自立支援型地域ケア会議マニュアル熊本県版」を編纂した。 市民公開講座では、「抱えない介護法と腰痛予防」をテーマに講義と実技指導がなされ、12名の参加があった。
6	熊本県作業療法士会	介護支援専門員協会と自立支援をテーマとした研修会を共同開催。介護福祉士会と生活支援に関する研修会の共同開催。
7	熊本県介護福祉士会	介護人材の育成の一環として研修会を実施した。他の団体と連携し、多様な利用者のニーズや暮らし方に応じたケアを提供できる人材の教育や相互交流を図り、課題解決に向けたグループディスカッション等を行った。（約70名参加）
8	熊本県介護支援専門員協会熊本市支部	看取りケア研修会を開催し、ケアマネ・介護福祉士・医師等約400名が参加
9	熊本県老人保健施設協会	老健新人職員研修会（延べ80施設、計170名参加） 感染症と薬剤使用に関する意思研修会（76施設87名参加） 老健管理職員研修会（61施設90名参加） 老健職員基礎研修会（29施設54名参加） 協会として認知症介護実践者研修を実施（49名参加）。各会員施設において実習受け入れを行っている。
10	熊本市地域包括支援センター連絡協議会	自立支援型地域ケア会議を各ささえりあにおいて年6回開催しており、事例提供者、助言者、傍聴者などの会議参加者の自立支援の為のマネジメント能力の向上を図った。

【行政】

	団体名	具体的取組
1	こころの健康センター	依存症、自殺予防等精神保健福祉に関する支援者向けの研修の実施を継続した。
2	医療政策課	在宅ケア多職種連携活動発表会（11/16）を開催。
3	西区保健子ども課	西区管内ささえりあ主催のケアマネ研修会で西区の健康課題や現状などの情報提供を行い、糖尿病重症化予防の必要性の確認を行った。
4	高齢福祉課 介護保険課	関係機関と連携し、医療・介護に関する研修会の開催や、県と合同で認知症に関する医療・介護従事者向け研修を実施。また、医療・介護従事者が出席する地域ケア会議を開催し、地域ネットワークの構築や地域包括ケアを担う人材育成を行った。

テーマ2 医療と介護が充実し、在宅（地域）で生活する市民が安心して暮らせるまちづくり
（在宅医療・介護連携）

（2）地域の在宅医療・介護を担う人材の育成

令和元年度の具体的取組

【関係機関・団体】

	団体名	具体的取組
1	熊本市医師会	熊本市医師会看護専門学校において、看護師・准看護師を養成
2	下益城郡医師会	宇城看護高等学校専修学校での、准看護師の養成。
3	熊本市歯科医師会	委託事業の継続 在宅訪問歯科診療に関するセミナーなどを開催し、歯科医師の資質向上を目指す。
4	熊本市薬剤師会	薬剤師会における在宅医療研修会の実施。
5	熊本県看護協会	訪問看護師養成研修（実習含め12日間） 訪問看護師スキルアップ研修（1日） 訪問看護師管理者研修（1日） 医療機関に勤務する看護師の同行訪問研修（1日） 介護事業所に勤務する看護職の研修（5日間） 多様な住まいの場における看取り支援研修（熊本市と地域の2ヶ所で看護職1日、介護職2日）
6	熊本県栄養士会	「よりソリプロジェクト」を基にした研修会の実施。助言ができる栄養士の育成強化・訪問栄養に関する研修の実施。
7	熊本県理学療法士協会	介護支援専門受験対策講座を開催予定。 熊本県作業療法士会の多職種における自立支援人材育成事業研修会への協力を通じ、人材育成に努める。
8	熊本県言語聴覚士会	理学療法士協会、作業療法士会と連携し、引き続き地域包括ケアシステムに関連した人材育成などに取り組む。
9	熊本県介護福祉士会	前年度に引き続き、人材育成関連に取り組む予定。
10	熊本県老人保健施設協会	認知症介護実践者リーダー研修の開催。実習受け入れの継続。 介護人材の確保と離職防止、質の向上へ向けての取り組み。
11	熊本市地域包括支援センター連絡協議会	自立支援型地域ケア会議について、昨年度は各ささえりあにおいて6事例以上を目標に事例検討していたが、今年度は12事例以上の事例検討を実施する事で、多職種の自立支援マネジメントに係る能力の向上を目指す。

【行政】

	団体名	具体的取組
1	こころの健康センター	依存症、自殺予防等精神保健福祉に関する支援者向けの研修の実施を継続する
2	医療政策課	先進的な取組み等を報告し、他の地域における活動の促進につながるよう、在宅ケア多職種連携活動発表会を開催
3	市民病院地域医療連携室	専門看護師による訪問看護ステーションへの出張研修が震災以降できていなかったが、専門・認定看護師による研修会の再開を検討。
4	高齢福祉課 介護保険課	関係機関と連携し、医療・介護に関する研修会の開催や、県と合同で認知症に関する医療・介護従事者向け研修を実施。また、医療・介護従事者が出席する地域ケア会議を開催し、地域ネットワークの構築や地域包括ケアを担う人材育成を図る。

テーマ2 医療と介護が充実し、在宅（地域）で生活する市民が安心して暮らせるまちづくり
（在宅医療・介護連携）

（3）地域の在宅医療を担う医師や医療機関の確保

平成30年度中の取組状況

【関係機関・団体】

	団体名	具体的取組
1	熊本市歯科医師会	現在、在宅訪問歯科診療協力医（88件）、障がい児（者）歯科診療協力医（44件）が登録している。

【行政】

	団体名	具体的取組
1	医療政策課	熊本市医師会及び下益城郡医師会に委託して在宅医養成研修を実施した。

テーマ2 医療と介護が充実し、在宅（地域）で生活する市民が安心して暮らせるまちづくり
（在宅医療・介護連携）

（3）地域の在宅医療を担う医師や医療機関の確保

令和元年度の具体的取組

【関係機関・団体】

	団体名	具体的取組
1	熊本市医師会	熊本在宅ドクターネットとの共催により「在宅医療研修会」を開催（7月26日 於 熊本市医師会館 他4回）
2	下益城郡医師会	医師（かかりつけ医）向けの研修会の実施。
3	熊本市歯科医師会	在宅訪問歯科診療に関するセミナーや障がい児（者）歯科治療に関するセミナーを行い、協力医療機関の増加を推進する

【行政】

	団体名	具体的取組
1	医療政策課	在宅医療に取り組む医療機関を増やすことを目的とし、熊本市医師会及び下益城郡医師会に委託して在宅医の養成研修を実施

テーマ2 医療と介護が充実し、在宅（地域）で生活する市民が安心して暮らせるまちづくり
（在宅医療・介護連携）

（4）在宅医療や介護等に関する地域住民への普及啓発

平成30年度中の取組状況

【関係機関・団体】

	団体名	具体的取組
1	熊本県看護協会	平成31年2月2日（土）に3年目となる「看護がつなく地域包括フォーラム」を八代で開催した。内容は急性期病院の入退院支援活動、一般病棟における認知症患者の在宅支援活動、介護老人保健施設における高齢者の在宅療養支援活動、在宅療養における訪問看護での看取り、在宅での看取りを経験したご家族等の5人リレートークを実施した。民生員、婦人の会等地域住民55名、保健・医療・福祉関係者181名の計236名が参加した。
2	熊本県理学療法士協会	介護予防・健康増進キャンペーンでは「怪我をしない身体づくり」をテーマに講演と体操指導が行われた。東区で開催された市民公開講座では「栄養と運動」をテーマにした講演と体力測定や健康体操の指導が行われ14名の参加があった。南区で開催された介護予防フォーラムでは、「介護予防って何をすれば良いの？」をテーマに29名の参加があった。
3	熊本県言語聴覚士会	失語症向け意思疎通支援者の養成講習会に9名が参加され、4名の方へ修了証を発行。
4	熊本県老人保健施設協会	市民公開講座の開催。平成31年2月19日 ホテル熊本テルサ（熊本県老健大会にて実施）「介護人材の育成について」

【行政】

	団体名	具体的取組
1	医療政策課	在宅医療市民講演会（3/23）の開催 出前講座の実施（在宅医療って知っていますか；6件148名、あなたが望む人生の最終段階の医療とは；48件1527名） 2月22日時点 市政だより、熊本市ホームページ掲載、ラジオ放送等実施
2	中央区福祉課	個別相談の対応や地域包括支援センター主催の課題検討型地域ケア会議を通して、相談者や関係者に対して在宅医療や介護等に関する啓発を行った。
3	中央区保健子ども課	地域包括支援センターと連携し、高齢者サロンや校区イベントでの健康相談時に在宅医療や介護等に関する情報の普及啓発を行った。
4	西区保健子ども課	地域の在宅療養支援ネットワーク連絡会（河内、芳野）に参加し、情報共有 8020推進員のスキルアップ研修会で地域包括ケアについて研修会を行い、情報提供を行った
5	南区保健子ども課	高齢者サロンや民協議等地域団体会議にて介護予防や認知症予防に関する普及啓発を行った。
6	北区福祉課	個別相談の対応や地域ケア会議等を通して啓発を行った。
7	高齢福祉課	地域包括ケアシステムに関する周知・広報業務について業務委託を行い、テレビ番組での特集やコマーシャル放映、集客イベントでのPRブース出展を行った。

テーマ2 医療と介護が充実し、在宅（地域）で生活する市民が安心して暮らせるまちづくり
（在宅医療・介護連携）

（４）在宅医療や介護等に関する地域住民への普及啓発

令和元年度の具体的取組

【関係機関・団体】

	団体名	具体的取組
1	熊本県看護協会	「看護がつなぐ地域包括ケアフォーラム」を住民向けに開催予定。 多様な住まいの場における看取り講演会を住民向けに開催予定。
2	熊本県理学療法士協会	「在宅・介護現場における重度化への対応」をテーマに研修会を予定。 「介護予防への取り組み」をテーマに研修会を予定。 介護予防・健康増進キャンペーンを開催予定。テーマは「セルフケア」。 転倒予防教室を中央区内で開催予定。 腰痛と糖尿病に関する公開講座を東区内で開催予定。
3	熊本県言語聴覚士会	失語症向け意思疎通支援者の養成講習会（40時間のカリキュラム）を開講し、人材育成に取り組むとともに、派遣事業も行う。

【行政】

	団体名	具体的取組
1	医療政策課	在宅医療市民講演会の開催 出前講座の実施予定（在宅医療って知っていますか、あなたが望む人生の最終段階の医療とは） 出前講座受講後の意識変化に関するアンケート実施。
2	中央区福祉課	個別相談の対応や地域包括支援センター主催の課題解決型地域ケア会議を通して、相談者や関係者に対して在宅医療や介護等に関する啓発を行う。
3	中央区保健子ども課	高齢者サロンや校区イベントでの健康相談時に在宅医療や介護等に関する情報の普及啓発を地域包括支援センターと連携し協力し行う。
4	西区保健子ども課	地域の在宅療養支援ネットワーク連絡会（河内、芳野）に参加し、情報共有。
5	南区保健子ども課	高齢者サロンや民協会議等地域団体会議における介護予防や認知症予防に関する普及啓発。
6	北区福祉課	個別相談の対応や地域ケア会議等を通して啓発を行う。
7	高齢福祉課	引き続き、地域包括ケアシステムに関する周知・広報を行う。

テーマ2 医療と介護が充実し、在宅（地域）で生活する市民が安心して暮らせるまちづくり
（在宅医療・介護連携）

（５）医療・介護関係者の情報共有の支援

平成30年度中の取組状況

【関係機関・団体】

	団体名	具体的取組
1	熊本市医師会	「くまもとメディカルネットワーク」への参加（H30年から熊本市医師会検査センターが参加）および普及啓発（熊本市民健康フェスティバルにて） 「在宅支援ハンドブック」のWeb版を中心とした改訂の検討
2	熊本市歯科医師会	H31.1.17に「歯科医師と介護支援専門員の連携セミナー」を開催した。 ささえりあからの依頼により、居宅職員勉強会での講演
3	熊本市薬剤師会	薬剤師会において地域包括支援センターと共同での研修会を実施した。
4	熊本県介護支援専門員協会熊本市支部	多職種連携に関する研修会等（薬剤師、栄養士、介護従事者等）を開催。（約400名参加）
5	熊本市地域包括支援センター連絡協議会	くまもとメディカルネットワークの加入を各ささえりあへ促し、平成31年2月末時点で13センターが加入、4月末までに全センターが加入予定である。次年度より当該システムを活用した具体的な情報共有を図っていく予定。

【行政】

	団体名	具体的取組
1	医療政策課	「くまもとメディカルネットワーク」の活用に関する周知（熊本市ホームページ掲載）
2	市民病院地域医療連携室	紹介医療機関への返書の徹底や、在宅療養移行シートを活用して在宅チームへの情報提供を実施。
3	中央区福祉課	各地域包括支援センター主催の医療と介護の連携に関する会議や研修等に参加し、それぞれの現状や課題を共有できるよう地域包括支援センターの支援を行った。
4	中央区保健子ども課	地域包括支援センターや訪問看護ステーション等と情報交換会を行い情報共有を図った。
5	西区保健子ども課	地域の在宅療養支援ネットワーク連絡会（河内、芳野）に参加し、情報共有
6	南区福祉課	多職種連携会議への職員（保健師）の派遣した。
7	南区保健子ども課	地域の在宅歯科医療の推進と連携を図るため、市歯科医師会の情報を、地域包括支援センター単位で福祉課に提供した。
8	北区福祉課	多職種連携会議へ出席し、情報共有を行った。
9	北区保健子ども課	熊本県看護協会北区ブロック会議に出席し、意見交換を行った。
10	高齢福祉課	地域包括ケアシステム推進会議において、在宅医療・介護連携に関する情報を共有した。

テーマ2 医療と介護が充実し、在宅（地域）で生活する市民が安心して暮らせるまちづくり
（在宅医療・介護連携）

（５）医療・介護関係者の情報共有の支援

令和元年度の具体的取組

【関係機関・団体】

	団体名	具体的取組
1	熊本市医師会	「くまもとメディカルネットワーク」への参画。 「在宅支援ハンドブック」のWeb版を中心とした改訂の検討。
2	熊本市歯科医師会	今後も定期的にセミナー等を開催していく。
3	熊本市地域包括支援センター連絡協議会	くまもとメディカルネットワークの活用ができるように、システム活用の為の研修会を開催する。また、各ささえりあにおいて、圏域の医療・介護事業所に対し、くまもとメディカルネットワークへの加入を促していく。

【行政】

	団体名	具体的取組
1	医療政策課	「くまもとメディカルネットワーク」についての広報。
2	市民病院地域医療連携室	くまもとメディカルネットワークの利用予定。
3	中央区福祉課	各地域包括支援センター主催の医療と介護の連携に関する会議や研修等の活動支援を通して、医療と介護関係者が情報を双方向で共有するための仕組みづくりを進める。
4	中央区保健子ども課	医師や地域包括支援センター、訪問看護ステーション等と情報交換し情報を共有する。
5	西区保健子ども課	地域の在宅療養支援ネットワーク連絡会（河内、芳野）に参加し、情報共有。
6	南区福祉課	前年度に引き続き、多職種連携会議への職員（保健師）の派遣する。
7	北区福祉課	多職種連携会議へ職員を派遣し、情報共有を行う。
8	高齢福祉課	引き続き、地域包括ケアシステム推進会議において、在宅医療・介護連携に関する情報を共有する。また、地域包括支援センターにおいて「くまもとメディカルネットワーク」への市民の加入促進を図る等、医療・介護の情報連携に向けた環境づくりに努める。

テーマ2 医療と介護が充実し、在宅（地域）で生活する市民が安心して暮らせるまちづくり
（在宅医療・介護連携）

（6）在宅医療・介護連携に関する相談支援

平成30年度中の取組状況

【関係機関・団体】

	団体名	具体的取組
1	熊本市歯科医師会	市民から在宅歯科診療についての相談があった場合、在宅訪問歯科診療協力医の紹介を行う。 地域包括支援センターごとに担当歯科医師を選出し、可能な限り、自立支援型地域ケア会議に参加している。

【行政】

	団体名	具体的取組
1	医療政策課	在宅医療相談窓口での相談対応（54件） 2月22日時点
2	中央区福祉課	窓口や電話での個別相談の対応を行った。
3	中央区保健子ども課	個別相談時に必要機関への紹介や介護保険制度等の情報提供を行い支援した。
4	北区福祉課	窓口や電話での個別相談の対応を行った。

テーマ2 医療と介護が充実し、在宅（地域）で生活する市民が安心して暮らせるまちづくり
（在宅医療・介護連携）

（6）在宅医療・介護連携に関する相談支援

令和元年度の具体的取組

【関係機関・団体】

	団体名	具体的取組
1	熊本市歯科医師会	今後も積極的に自立支援型地域ケア会議に出席し、歯科に関する助言等していく

【行政】

	団体名	具体的取組
1	医療政策課	在宅医療相談窓口での相談対応
2	中央区福祉課	窓口や電話での個別相談の対応を行う。
3	中央区保健子ども課	電話相談や個別相談時に必要な関係機関への紹介や情報提供を行う。
4	北区福祉課	窓口や電話での個別相談。

テーマ2 医療と介護が充実し、在宅（地域）で生活する市民が安心して暮らせるまちづくり
（在宅医療・介護連携）

（7）在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討

平成30年度中の取組状況

【関係機関・団体】

	団体名	具体的取組
1	熊本市医師会	「在宅医療委員会」を設置し、在宅医療に関する課題の抽出や解決策について検討。（4月9日 於 熊本市医師会館 他5回） 熊本県委託事業として「熊本市在宅医療サポートセンター」を設置し、在宅医療実施機関の支援について検討（11月5日 於 熊本市医師会館 他2回）
2	熊本市薬剤師会	地域包括支援センター主催の地域自立支援ケア会議への薬剤師派遣
3	熊本県作業療法士会	東区、北区、南区にて地域ケア会議に関する講師派遣対応。熊本市薬剤師会等へ地域ケア会議に関する講師派遣対応。東区地域包括ケアシステム推進会議及びワーキング会議 委員派遣。
4	熊本県老人保健施設協会	自立支援型地域ケア会議へ専門職の参加。

【行政】

	団体名	具体的取組
1	医療政策課	熊本地域在宅医療介護連携体制検討会の開催 在宅療養患者等の救急医療等に関する検討会の開催
2	中央区福祉課	各地域包括支援センターの活動支援を通して、課題の抽出と対応策の検討を行った。
3	東区福祉課	自立支援型地域ケア会議や協議体、事業所連絡会等を通じて、地域課題の把握に努めている。
4	西区保健子ども課	地域の在宅療養支援ネットワーク連絡会（河内、芳野）に参加し、情報共有。
5	北区福祉課	地域包括ケアシステム推進会議を設置し、課題の抽出を行い、対応策を検討するシステムを構築。
6	高齢福祉課	熊本地域在宅医療介護連携体制検討会議や各区地域包括ケアシステム推進会議、市地域包括ケアシステム推進会議が連携し、地域から抽出された課題への対応について検討した。

テーマ2 医療と介護が充実し、在宅（地域）で生活する市民が安心して暮らせるまちづくり
（在宅医療・介護連携）

（7）在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討

令和元年度の具体的取組

【関係機関・団体】

	団体名	具体的取組
1	熊本市医師会	「在宅医療委員会」を設置し、在宅医療に関する課題の抽出や解決策について検討 熊本県委託事業として「熊本市在宅医療サポートセンター」を設置し、在宅医療実施機関の支援について検討
2	熊本県看護協会	当協会の各職能委員会（保健師・助産師・看護師（病院関係）看護師（施設関係））で活動を通して課題抽出予定
3	熊本県作業療法士会	地域ケア会議の従事者研修会の開催。地域ケア会議とリハ職派遣事業との連携協調確認など。

【行政】

	団体名	具体的取組
1	医療政策課	熊本地域在宅医療介護連携体制検討会の開催 在宅療養患者等の救急医療等に関する検討会の開催
2	中央区福祉課	各地域包括支援センターの活動支援を通して、課題の抽出と対応策の検討を行う。
3	東区福祉課	把握した課題に応じて、対応の検討を進める
4	西区保健子ども課	地域の在宅療養支援ネットワーク連絡会（河内、芳野）に参加し、情報共有
5	北区福祉課	地域包括支援センターの会議に出席し、課題の抽出と対応策を検討する。
6	高齢福祉課	引き続き、熊本地域在宅医療介護連携体制検討会議や各区地域包括ケアシステム推進会議、市地域包括ケアシステム推進会議が連携し、地域から抽出された課題への対応について検討する。

テーマ2 医療と介護が充実し、在宅（地域）で生活する市民が安心して暮らせるまちづくり
（在宅医療・介護連携）

（8）地域の医療・介護の資源の把握

平成30年度中の取組状況

【関係機関・団体】

	団体名	具体的取組
1	熊本県理学療法士協会	熊本市の「自立支援・重度化防止に向けたモデル事業」への協力会員の把握を行った。

【行政】

	団体名	具体的取組
1	医療政策課	医療機関、介護事業所等の情報について区毎に整理してホームページに掲載。
2	中央区保健子ども課	関係組織や機関との会議や連絡会等において担当校区の資源を把握した。
3	東区保健子ども課	介護の資源は、まちづくり担当実務者連絡会で情報把握。（ささえりあからの情報提供）
4	西区保健子ども課	地域の在宅療養支援ネットワーク連絡会（河内、芳野）に参加し、情報共有。
5	高齢福祉課	生活支援コーディネーターを中心に地域の医療機関や介護事業所等といった社会資源の把握に努め、地域資源を整理した「地域ケア計画」を更新した。

テーマ2 医療と介護が充実し、在宅（地域）で生活する市民が安心して暮らせるまちづくり
（在宅医療・介護連携）

（8）地域の医療・介護の資源の把握

令和元年度の具体的取組

【関係機関・団体】

	団体名	具体的取組
1	熊本県理学療法士協会	熊本市の「自立支援型ケアプラン作成に向けたリハ職派遣事業」へ協力会員の把握に努める。

【行政】

	団体名	具体的取組
1	医療政策課	医療機関、介護事業所等の情報の更新。
2	中央区保健子ども課	地域での会議や連絡会等において地域の資源を把握する。
3	西区保健子ども課	地域の在宅療養支援ネットワーク連絡会（河内、芳野）に参加し、情報共有。
4	高齢福祉課	引き続き、生活支援コーディネーターを中心に地域資源の把握に努めるとともに、地域資源を整理した「地域ケア計画」を定期的に更新することで地域課題解決に活用する。

テーマ3 認知症の人とその家族が地域で安心して暮らせるまちづくり
(認知症対策)

(1) 地域で見守り支え合う体制づくり

平成30年度中の取組状況

【関係団体】

	団体名	具体的取組
1	健康まちづくりを推進する中央区の代表	帯山校区では50名程が参加し認知症徘徊模擬訓練(搜索、声掛け)を実施。

【行政】

	団体名	具体的取組
1	健康福祉政策課	地域福祉の担い手である民生委員・児童委員の活動支援
2	中央区総務企画課	「ともに考える地域包括ケアシステム」講演会を福祉課と共催で開催し、自治会長などに情報提供した。
3	中央区福祉課	黒髪校区、帯山校区で認知症声掛け訓練を地域と協働で開催した。地域包括支援センターと連携して地域活動の後方支援を行った。
4	中央区保健子ども課	自立支援型地域ケア会議にも参加し、地域や専門職で支援する体制ができた。
5	東区福祉課	認知症声かけ訓練の実施支援(長嶺校区・託麻西校区・尾ノ上校区・泉ヶ丘校区・画図校区) 認知症声かけ訓練事前研修会(託麻北校区)の開催
6	東区保健子ども課	健軍校区地域座談会の実施(年3回) まちづくりセンター単位の実務者連絡会に定期的に参加し、地域の課題や支えあう体制づくりについて意見交換を実施 サロンの運営に関する会議に参加し、地域役員や関係機関と地域包括ケア、高齢者の支援について協議
7	西区総務企画課 花園まちづくりセンター	平成29年度から地域の課題解決を行うため、花園まちづくりセンター、西区役所の関係各課(総務企画課、福祉課、保健子ども課、支え合いセンター)の行政機関とささえりあ井芹、西区社会福祉協議会の民間機関との集合体「花園支援チーム」を結成。定期的に協議を行い、情報共有、事業の企画を行っている。 本年度町内で実施された徘徊模擬訓練の支援を行った。
8	西区福祉課	ささえりあが実施した徘徊模擬訓練や声掛け訓練、認知症の勉強会に参加、協力を行った。
9	西区保健子ども課	ささえりあ主催の協議体の会議に参加し地域と情報共有
10	南区総務企画課 幸田まちづくりセンター	ささえりあと協働での徘徊模擬訓練(田迎、田迎南校区)
11	南区保健子ども課	地域の住民や地域包括支援センター、社協等の関係機関とともに地域で支えあう体制づくりについて、話し合いの場を設けた。
12	北区総務企画課北部まちづくりセンター	北部包括まちづくり支援会議(行政職員+ささえりあ)を設立し、認知症家族の会や地域住民の協力を得て認知症啓発映像を作成。その映像を窓口モニターを活用し市全域で流すとともに地域のサロン等で流すことにより啓発活動を実施した。
13	北区福祉課	認知症徘徊者声掛け模擬訓練を地域と共催で実施した(小塚地区、龍田6町内、武蔵校区、麻生田校区)。

	団体名	具体的取組
14	北区保健子ども課	北区管内4校区にて認知症徘徊者声かけ模擬訓練を実施しており、技術支援を行っている。
15	高齢福祉課	徘徊模擬訓練の実施や認知症サポーター養成講座の実施により、地域住民の認知症に関する正しい理解の普及や見守り体制の充実を図った。

テーマ3 認知症の人とその家族が地域で安心して暮らせるまちづくり
(認知症対策)

(1) 地域で見守り支え合う体制づくり

令和元年度の具体的取組

【関係機関・団体】

	団体名	具体的取組
1	熊本県作業療法士会	市民健康フェスティバルでの認知症予防へのブース設置や相談対応。認知症の人と家族の会と連携し催事開催。若年性認知症に関する取り組みなど。
2	熊本市地域包括支援センター連絡協議会	各圏域において、認知症サポーター養成講座の開催、認知症徘徊声掛け・搜索訓練の実施、見守りネットワークの構築など、多様な活動を通じ、見守り体制を強化していく。
3	健康まちづくりを推進する西区の代表	地域包括ケアシステムに対する理解の深化

【行政】

	団体名	具体的取組
1	健康福祉政策課	地域福祉の担い手である民生委員・児童委員の活動支援
2	中央区福祉課	地域での認知症声掛け訓練の開催支援を地域包括支援センターと連携して行う。
3	中央区保健子ども課	地域ケア会議等に参加し、役割等を検討し体制づくりを支援する。
4	東区福祉課	認知症声かけ訓練の事前研修会(東区全校区を対象)を実施し、地域住民の認知症に対する理解の浸透に努める。
5	東区保健子ども課	健軍校区地域座談会で住民から出た、目的・目標に向かった具体的な取り組み実施 9月に中間評価のため、住民向けの座談会を実施予定
6	西区総務企画課 花園まちづくりセンター	複数の町内で開催予定の徘徊模擬訓練の支援を予定。
7	西区福祉課	西区のキャラバンメイトの情報を整理し、地域活動への協力等を円滑に行えるようにネットワークの構築に努める。
8	西区保健子ども課	ささえりあ主催の協議体の会議に参加し地域と情報共有
9	南区総務企画課 幸田まちづくりセンター	ささえりあと協働での徘徊模擬訓練
10	南区保健子ども課	地域関係者や地域包括支援センター、関係機関とともに情報交換を行う機会を継続して設ける。
11	北区総務企画課北部まちづくりセンター	前年度の映像は、認知症本人やその家族の気持ちにコミットして作成していたため、令和元年度の戦略としては地域の方がどう関わりを持つと住みよいまちとなるのかに着目し第2弾の映像作成にとり掛かることとしている。
12	北区福祉課	認知症徘徊者声掛け模擬訓練を地域と共催で開催する。
13	北区保健子ども課	認知症徘徊者声掛け模擬訓練の実施拡大に向けた支援を行う。
14	高齢福祉課	引き続き、徘徊模擬訓練の実施や認知症サポーター養成講座の実施により、地域住民の認知症に関する正しい理解の普及や見守り体制の充実を図る。

テーマ3 認知症の人とその家族が地域で安心して暮らせるまちづくり
(認知症対策)

(2) 認知症に対する正しい理解の普及啓発

平成30年度中の取組状況

【関係団体】

	団体名	具体的取組
1	熊本市医師会	TKU「医療大百科」にて、「認知症」をテーマに会員医師が出演 5月14日「認知症の診断」(宮内大介先生)、「認知症の治療、予防」 (小山一静先生)他 ささえりあ本荘による「認知症になっても安心して暮らせるまちづくり」 をテーマとした座談会を開催(8月22日 於 本庄地域コミュニティ センター)
2	熊本市薬剤師会	薬剤師向けの研修会の実施
3	熊本県看護協会	認知症高齢者の看護実践に必要な知識のオンデマンド研修(2日間) を2回開催(6/6・6/7参加者:232名、11/6・11/7参加者: 177名) 急性期病院、施設等身近に認知症の方に接する機会が多い看護職を対 象に認知症・緩和ケアに役立つタクティールケア研修を開催(163名)
4	熊本県作業療法士会	くまもと記憶めぐりカレンダー配布及び当会HPにて紹介。 介護福祉士会と認知症者のリハと介護に関する研修会の開催。 熊本市民健康フェスティバルのOTブースにおける認知症予防と相談対 応の実施。
5	熊本県介護支援専門員協 会熊本支部	認知症ケアに携わる方を対象に研修会を開催し、約500名が参加。
6	熊本市社会福祉協議会	ジュニアヘルパーとして登録した中学生を対象に、認知症サポーター養 成講座を開催し、認知症に対する理解の普及啓発を行う。
7	熊本市民生委員児童委員 協議会	地域で見守り活動を行っている住民を対象に研修会を開催し、正しい知 識の普及・啓発に努めた。
8	認知症の人と家族の会熊 本県支部	アルツハイマーデー記念講演会を9月1日(土)、熊本県民交流館パレア ホールにて実施。参加者227名。世界アルツハイマーデー街頭活動を9 月29日(土)下通にて実施。参加者27名。認知症サポーター養成講座 や認知症フォーラムへ講師派遣し、普及啓発した。
9	熊本市シルバー人材セン ター	シニア介護アシスタント養成講座において「認知症・障がいへの理解」 の講座を設けた。
10	健康まちづくりを推進す る東区の代表	認知症徘徊模擬訓練の実施、老人会への認知症の講座
11	健康まちづくりを推進す る西区の代表	学校教育における認知症への理解とサポーター養成
12	健康まちづくりを推進す る北区の代表	熊本保健科学大学とささえりあ北部の協力を得て、2町内の公民館で認 知症の研修を行い、公民館の周囲において、認知症徘徊声かけ模擬訓練 を実施し、約120人が参加。

【行政】

	団体名	具体的取組
1	中央区福祉課	認知症サポーター養成講座の周知、開催支援を行った。 申込団体への講習会後のインタビューによる受講状況の確認及び継続 開催の依頼を行った。
2	中央区保健子ども課	高齢者サロンや徘徊模擬訓練などで正しい知識の普及啓発のための情報 を提供した。 民児協等会議での認知症に係る情報提供と高齢者健康教育を実施した。

	団体名	具体的取組
3	東区福祉課	認知症サポーターリーダー養成講座や認知症シンポジウム、認知症声かけ訓練事前研修会を通じて、認知症に対する理解の浸透と当事者や家族が孤立せず安心して暮らせるまちづくりを推進している。
4	東区保健子ども課	画図校区声かけ訓練の実施予定（H31.3.19予定） 高齢者サロンや地域役員の会議等で啓発実施
5	西区福祉課	認知症サポーター養成講座の未開催の小学校へささえりあと開催への依頼・説明を行った。 認知症サポーター養成講座の開催支援を行い、過去に未開催の小学校、高校での初めての開催へつながった。
6	西区保健子ども課	食生活改善推進員を対象に行われるスキルアップ研修会を認知症をテーマにして実施。 8020推進員対象のスキルアップ研修会で認知症講演会を実施。
7	南区福祉課	認知症地域支援推進員による啓発活動を行った。
8	南区保健子ども課	民協会議や高齢者サロン等で認知症についての普及啓発を行った。
9	北区福祉課	認知症サポーター養成講座を実施した。 北部まちづくりセンター、北2包括支援センターと合同で認知症普及啓発の映像を作成した。
10	北区保健子ども課	北部地域包括まちづくり支援チーム（まちづくりセンター・総務企画課・福祉課・保護課・地域包括支援センター・保健子ども課で構成する横断的な組織）にて、認知症の症状や予防についての映像を作成し、区役所の窓口モニターや高齢者サロン、老人会で放映した。
11	高齢福祉課	教育機関や企業など幅広く認知症サポーター養成講座を開催したほか、養成講座の講師となるキャラバン・メイト養成研修を開催した。

テーマ3 認知症の人とその家族が地域で安心して暮らせるまちづくり
(認知症対策)

(2) 認知症に対する正しい理解の普及啓発

令和元年度の具体的取組

【関係機関・団体】

	団体名	具体的取組
1	熊本市薬剤師会	薬剤師会における専門的な研修会の実施。
2	熊本県看護協会	認知症高齢者の看護実践に必要な知識のオンデマンド研修(2日間)を2回開催 その他病院看護職向け認知症研修企画中
3	熊本県介護支援専門員協会熊本市支部	認知症ケアに関する研修会等を開催予定。
4	熊本市社会福祉協議会	認知症サポーター養成講座開催。(ジュニアヘルパーとして登録した中学生を対象として)
5	熊本市民生委員児童委員協議会	地域住民の集う場(町内会行事・子ども会・PTA等)で、理解を促していきたい。
6	認知症の人と家族の会熊本県支部	アルツハイマーデー記念講演会を実施。世界アルツハイマーデー街頭活動の実施。認知症サポーター養成講座や認知症フォーラムへの講師派遣。
7	健康まちづくりを推進する西区の代表	地域や学校に対する認知症の学習の実施。

【行政】

	団体名	具体的取組
1	中央区福祉課	区役所職員を対象とした認知症サポーター養成講座の実施について検討し、開催する。 区内の小中学校に対して認知症サポーター養成講座の開催勧奨について検討する。
2	中央区保健子ども課	民児協や高齢者サロン、校区のイベント等で正しい知識の普及啓発を行う。
3	東区福祉課	認知症サポーターリーダー養成講座や認知症シンポジウム、認知症声かけ訓練事前研修会を通じて、認知症に対する理解の浸透と当事者や家族が孤立せず安心して暮らせるまちづくりを推進していく。
4	西区福祉課	幅広い年齢層、対象者への認知症サポーター養成講座の開催をささえりあへ促す。
5	南区福祉課	前年度に引き続き、認知症地域支援推進員による啓発活動を行う。
6	南区保健子ども課	民協会議や高齢者サロン等における認知症についての普及啓発
7	北区総務企画課北部まちづくりセンター	地域コミュニティの活性化を図るため、北部東校区の2つの町内をモデル町内とし、高齢者と若者(小中学生)との助け合い活動をゴミ出しを通じて行える方法を地域住民と協議しながら行いたい。
8	北区福祉課	認知症サポーター養成講座を実施する。

	団体名	具体的取組
9	北区保健子ども課	北部まちづくり包括支援チーム（まちづくりセンター・福祉課・保護課・地域包括支援センター・保健子ども課で構成する横断的な組織）にて、認知症の人への対応についての映像を作成し、区役所の窓口モニターや高齢者サロン、老人会で放映予定。
10	高齢福祉課	引き続き、「認知症安心ガイドブック」を活用するほか、教育機関や企業など幅広く認知症サポーター養成講座を開催するとともに、養成講座の講師となるキャラバン・メイト養成研修を開催する。

テーマ3 認知症の人とその家族が地域で安心して暮らせるまちづくり
(認知症対策)

(3) 認知症高齢者を抱える家族への支援

平成30年度中の取組状況

【関係団体】

	団体名	具体的取組
1	熊本市歯科医師会	市民から認知症についての相談があった場合、対応可能な歯科医院を紹介する。現在、29件が登録している。
2	熊本県作業療法士会	くまもと記憶めぐりカレンダー配布及び当会HPにて紹介。「認知症の人と家族の会」と連携し研修や通いの場支援等の対応を開始した。
3	熊本県老人保健施設協会	認知症カフェの実施(各会員施設が地域事業所と協力して適宜実施している)。
4	認知症の人と家族の会熊本県支部	認知症介護家族のつどい(高齢期・若年期・男性介護)実施。若年本人・家族の交流会毎月1回実施。「若年認知症の親を持つ子どもの会」を1月から開始した。その後月1回継続している。「看取りを終えた方のつどい」を12月に開始した。

【行政】

	団体名	具体的取組
1	こころの健康センター	電話相談、支援機関等の情報提供
2	中央区福祉課	地域包括支援センターと連携して個別相談対応を行い、必要に応じて関係機関に繋げた。 市政だより等で「認知症介護家族のつどい」の周知を行った。
3	中央区保健子ども課	電話相談や家庭訪問時の家族からの相談に対応し、必要な関係機関を紹介し繋いだ。
4	東区福祉課	認知症サポートブックを作成・配布し、専門医・サポート医の紹介や相談窓口の周知を図っている。 認知症サポーター養成講座や認知症シンポジウム、認知症声かけ訓練事前研修会を通じて、認知症に対する理解の浸透と当事者や家族が孤立せず安心して暮らせるまちづくりを推進している。 認知症カフェ連絡会を開催し、カフェの周知や利用促進に向けた取組を検討している。
5	東区保健子ども課	個別に相談あれば対応、認知症介護家族のつどいの紹介。
6	西区福祉課	H30.10月から、西区とささえりあの共催にて認知症介護家族の集い「スマイルどあ」を開催し、介護者の精神的な負担軽減を図り、支援者とのネットワーク構築に努めた。(5回)
7	南区福祉課	「認知症カフェ」開設に設置者とともに携わった。
8	北区福祉課	家族カフェの支援
9	北区保健子ども課	個別ケースの対応、支援を行っている。
10	高齢福祉課	認知症コールセンターを運営するとともに、「認知症安心ガイドブック」の作成・配布を行い、地域資源や関係機関、支援制度や体制等の周知を図った。

テーマ3 認知症の人とその家族が地域で安心して暮らせるまちづくり
(認知症対策)

(3) 認知症高齢者を抱える家族への支援

令和元年度の具体的取組

【関係機関・団体】

	団体名	具体的取組
1	熊本市歯科医師会	電話等で相談があった場合、対応していく。
2	認知症の人と家族の会熊本県支部	「若年認知症の親を持つ子どもの会」を毎月第3土曜に開催する。「看取りを終えた方のつどい」を4か月ごとに開催する。

3

【行政】

	団体名	具体的取組
1	こころの健康センター	電話相談、支援機関等の情報提供
2	中央区福祉課	「認知症介護家族のつどい」の周知方法について検討する。中央区管内の認知症介護家族のつどいの交流会開催について検討する。
3	中央区保健子ども課	電話相談や健康相談、家庭訪問等で家族からの相談に対応し必要な関係機関を紹介するなどの支援を行う。
4	東区福祉課	認知症カフェ連絡会の継続開催
5	西区福祉課	認知症介護家族の集い「スマイルどあ」を継続開催し、介護家族への支援を行う。
6	南区福祉課	「認知症カフェ」の広報啓発を行う。
7	北区福祉課	家族カフェの支援を行う。
8	北区保健子ども課	個別ケースの対応、支援を継続して実施する。
9	高齢福祉課	引き続き、認知症コールセンターを運営するとともに、「認知症安心ガイドブック」を活用し、地域資源や関係機関、支援制度や体制等の周知を図る。

テーマ3 認知症の人とその家族が地域で安心して暮らせるまちづくり
(認知症対策)

(4) 関係機関による連携体制の構築

平成30年度中の取組状況

【関係団体】

	団体名	具体的取組
1	熊本市医師会	熊本市認知症疾患医療センター「認知症疾患医療連携協議会」等に当会会員を推薦し、協力。
2	熊本県作業療法士会	介護福祉士会と認知症者のリハと介護に関する研修会の開催。「認知症の人と家族の会」と連携し研修や通いの場支援等の対応を開始した。
3	熊本県社会福祉士会	地域包括支援センターの社会福祉士有資格者向けの研修会を年4回開催。権利擁護及び総合相談を担う地域包括支援センターの社会福祉士のスキルアップを図ると共に、各センターの社会福祉士の連携及び情報交換や多機関との連携の場を提供した。
4	熊本県警察本部生活安全企画課	認知症高齢者等に係る情報提供制度について、実務担当者レベルでの打ち合わせを実施。

【行政】

	団体名	具体的取組
1	こころの健康センター	区役所、ささえりあへの技術支援。
2	中央区福祉課	認知症介護指導者と協働でキャラバンメイト交流会を開催し、キャラバンメイト同士の情報交換の機会を設けた。 キャラバンメイト、認知症介護指導者の活動状況や抱える課題の把握を行った。
3	中央区保健子ども課	地域包括支援センターおよび福祉相談センターとの交流会にも参加し、関係機関との連携を密に行える体制づくりができた。
4	東区福祉課	東区管内包括において、各校区のサロン等での健康講話を実施している。
5	東区保健子ども課	まちづくり実務者会議にて協議(1回/2月あさひば)徘徊模擬訓練
6	西区福祉課	医療機関の情報収集や連携を開始した。 家族の集い「スマイルどあ」の開催にあたり、「認知症の人と家族の会」に協力依頼し、連携を図り開催につなげた。 ささえりあと連携し、個別支援を行った。また家族の集い「スマイルどあ」の運営、開催も協力し行った。
7	西区保健子ども課	ささえりあ主催の協議体の会議に参加し地域と情報共有
8	南区保健子ども課	地域の住民や地域包括支援センター、社協等の関係機関とともに地域で支えあう体制づくりについて、話し合いの場を設けた。
9	北区福祉課	各まちづくりセンターが開催する地域支援会議に参加した。
10	北区保健子ども課	北部地域包括まちづくり支援チームと同じ横断的な組織を、植木・清水・龍田のまちづくりセンターごとに立ち上げ(植木・龍田には障がいの委託相談支援事業所も含む)、1回/月~1回/2か月会議を設けながら、連携体制の構築を図っている。
11	高齢福祉課 介護保険課	医療従事者及び介護従事者向け認知症に関する研修を実施したほか、地域包括支援センターや各区の認知症地域支援推進員、認知症初期集中支援チーム、認知症疾患医療センター等関係機関による連携を図った。

テーマ3 認知症の人とその家族が地域で安心して暮らせるまちづくり
(認知症対策)

(4) 関係機関による連携体制の構築

令和元年度の具体的取組

【関係機関・団体】

	団体名	具体的取組
1	熊本市医師会	熊本市認知症疾患医療センター「認知症疾患医療連携協議会」等に当会会員を推薦し、協力。
2	熊本県社会福祉士会	地域包括支援センターの社会福祉士有資格者向けの研修会を年4回開催し、権利擁護及び総合相談を担う地域包括支援センターの社会福祉士のスキルアップを図ると共に、各センターの社会福祉士の連携及び情報交換や多機関との連携の場を提供する。また、地域包括支援センター社会福祉士と虐待対応及び権利擁護センターぱあととなあひの社会福祉士との合同研修会を実施することで、より具体的な権利擁護に関わるスキルアップを図る。
3	熊本県警察本部生活安全企画課	市民健康フェスティバルでの認知症予防へのブース設置や相談対応。認知症の人と家族の会と連携し催事開催。若年性認知症に関する取り組みなど。

【行政】

	団体名	具体的取組
1	こころの健康センター	区役所、ささえりあへの技術支援。
2	中央区福祉課	キャラバンメイトと認知症介護指導者等の連携体制を構築する。キャラバンメイト同士のつながり、スキルアップを目指して介護指導者と協力してキャラバンメイト連絡会立ち上げていく。
3	中央区保健子ども課	地域包括支援センターとの交流会や個別支援等を通じて関係機関との連携を強化する。
4	東区福祉課	東区管内包括において、各校区のサロン等での健康講話の実施を継続する。
5	西区福祉課	認知症ケアパスを使用し、西区内の医療機関（クリニックなど含む）との連携を図っていく。
6	西区保健子ども課	ささえりあ主催の協議体の会議に参加し地域と情報共有。
7	南区保健子ども課	地域関係者や地域包括支援センター、関係機関とともに継続して情報交換を行っていく。
8	北区福祉課	引き続き、各まちづくりセンターが開催する地域支援会議に参加していく。
9	北区保健子ども課	各まちづくりセンターごとの地域包括まちづくり支援チームで引き続き連携体制の構築を図ると共に、地域課題を抽出し、対応について検討していく。
10	高齢福祉課 介護保険課	引き続き、医療従事者及び介護従事者向け認知症に関する研修を実施するほか、地域包括支援センターや各区の認知症地域支援推進員、認知症初期集中支援チーム、認知症疾患医療センター等関係機関による連携の充実を図る。

テーマ3 認知症の人とその家族が地域で安心して暮らせるまちづくり
(認知症対策)

(5) 気軽に相談できる体制の充実

平成30年度中の取組状況

【関係団体】

	団体名	具体的取組
1	熊本県看護協会	熊本市内3支部、天草支部、水俣・芦北支部、人吉・球磨支部、八代支部、宇城支部、上益城支部、菊池支部、有明支部、鹿本支部、阿蘇支部の13支部でショッピングセンター、みちの駅、温泉施設等で健康相談「まちの保健室」を1～2ヶ月に1回開催し、熊本市内3支部で約1500名以上が利用、うち60%以上が60歳代から80歳代である。 看護協会独自で月2回鶴屋で健康相談「まちの保健室」を開催、839名が来所しうち利用者の69%589名が60歳代から90歳代であった。
2	認知症の人と家族の会熊本県支部	熊本県認知症コールセンター事業(熊本県・熊本市から委託)。水曜日以外の毎日。午前9時～午後6時まで実施。電話による相談の他来所面接相談や相談ケースにより訪問相談も実施している。

【行政】

	団体名	具体的取組
1	こころの健康センター	電話相談による対応、支援者支援を継続する。
2	中央区福祉課	区に配置されている認知症地域支援推進員の周知を行った。
3	中央区保健子ども課	気軽に相談できるよう地域の高齢者サロンや校区イベント等での健康相談や、電話相談対応を行った。
4	東区福祉課	認知症サポートブックを作成・配布し、専門医・サポート医の紹介や相談窓口の周知を図っている 認知症カフェ連絡会を開催し、カフェの周知や利用促進に向けた取組を検討している。
5	西区福祉課	家族の集い「スマイルどあ」で支援者とのネットワーク構築し、気軽に相談できる体制を整えた。
6	西区保健子ども課	こころの健康相談の開催による専門医への相談(月1回)
7	南区福祉課	「認知症カフェ」開設に設置者とともに携わった。
8	北区福祉課	認知症地域支援推進員が配置され、相談に対応した。
9	北区保健子ども課	北部地域包括まちづくり支援チームと同じ横断的な組織を、植木・清水・龍田のまちづくりセンターごとに立ち上げ(龍田には障がい委託相談支援事業所も含む)、1回/月～1回/2か月会議を設けながら、情報共有を行っている。
10	高齢福祉課	全区に配置した認知症地域支援推進員や認知症コールセンター、地域包括支援センター、認知症疾患医療センターを運用し、重層的に相談できる体制を維持するとともに、支援体制に関する周知を図った。

テーマ3 認知症の人とその家族が地域で安心して暮らせるまちづくり
(認知症対策)

(5) 気軽に相談できる体制の充実

令和元年度の具体的取組

【関係機関・団体】

	団体名	具体的取組
1	熊本県看護協会	熊本市内3支部、天草支部、水俣・芦北支部、人吉・球磨支部、八代支部、宇城支部、上益城支部、菊池支部、有明支部、鹿本支部、阿蘇支部の13支部でショッピングセンター、みちの駅、温泉施設等で健康相談「まちの保健室」を1～2ヶ月に1回実施
2	認知症の人と家族の会熊本県支部	熊本県認知症コールセンターの周知活動

【行政】

	団体名	具体的取組
1	こころの健康センター	電話相談による対応、支援者支援を継続する
2	中央区福祉課	認知症地域支援推進員の周知を引き続き行う。
3	中央区保健子ども課	様々な健康相談の場で相談対応する。
4	東区福祉課	認知症サポートブックを作成・配布し、専門医・サポート医の紹介や相談窓口の周知を図っていく。 認知症カフェ連絡会を開催し、カフェの周知や利用促進に向けた取組を検討していく。
5	西区福祉課	家族の集い「スマイルどあ」を広く知ってもらう為、ささえりあや関係機関と協力し広報に努める。 圏域内で、他にも相談できる場所ができるよう働きかけを行う。
6	西区保健子ども課	こころの健康相談の開催による専門医への相談(月1回)
7	南区福祉課	「認知症カフェ」の広報啓発を行う。
8	北区福祉課	認知症地域支援推進員の配置を周知し、相談に対応する。
9	北区保健子ども課	各まちづくりセンターごとの地域包括まちづくり支援チームで引き続き連携体制の構築を図り、情報共有を行う。
10	高齢福祉課	引き続き、全区に配置した認知症地域支援推進員や認知症コールセンター、地域包括支援センター、認知症疾患医療センターを運用し、重層的に相談できる体制を維持するとともに、支援体制に関する周知を図る。

テーマ3 認知症の人とその家族が地域で安心して暮らせるまちづくり
(認知症対策)

(6) 認知症の早期発見・初期対応

平成30年度中の取組状況

【関係団体】

	団体名	具体的取組
1	熊本県作業療法士会	くまもと記憶めぐりカレンダー配布及び当会HPにて紹介。

【行政】

	団体名	具体的取組
1	中央区福祉課	地域包括支援センターと連携して個別相談の対応を行った。 必要に応じて認知症初期集中支援チームとの連携により、専門医への受診勧奨または受診支援を行った。
2	中央区保健子ども課	認知症に関する情報提供(啓発)を校区役員に行い、早期発見・相談対応に繋いだ。
3	東区福祉課	地域支援推進員を中心に、管内ささえりあや認知症初期集中支援チームと連携し、個別相談に応じている。
4	西区福祉課	認知症初期集中支援チームと連携を図り、初期対応、病院受診等の支援を行った。
5	南区保健子ども課	高齢者サロンや民協会議等での個別相談に対し、福祉課や地域包括支援センターと連携して支援した。
6	北区福祉課	地域包括支援センターや認知症初期支援チームとの連携を行って対応した。
7	北区保健子ども課	高齢者サロンや老人会において正しい知識の普及啓発を実施。 北部地域包括まちづくり支援チーム(まちづくりセンター・総務企画課・福祉課・保護課・地域包括支援センター・保健子ども課で構成する横断的な組織)にて、認知症の症状や予防についての映像を作成し、区役所の窓口モニターや高齢者サロン、老人会で放映した。
8	高齢福祉課	医療従事者向け認知症対応力向上研修を実施していくとともに、各区の認知症地域支援推進員や地域包括支援センター、認知症初期集中支援チーム等が連携し、早期発見や円滑な初期対応を図った。

テーマ3 認知症の人とその家族が地域で安心して暮らせるまちづくり
(認知症対策)

(6) 認知症の早期発見・初期対応

令和元年度の具体的取組

【関係団体】

	団体名	具体的取組
1	熊本県作業療法士会	認知症の人と家族の会と連携し催事開催。若年性認知症に関する取り組みなど。

【行政】

	団体名	具体的取組
1	中央区福祉課	地域包括支援センターと連携して個別相談対応を行う。 認知症初期集中支援チームの周知を図るとともに、関係機関との連携体制を整えていく。
2	中央区保健子ども課	地域活動において認知症に関するの普及啓発とサロン等の健康相談で対応する。
3	東区福祉課	地域支援推進員を中心に、管内ささえりあや認知症初期集中支援チームと連携し、個別相談に応じていく。
4	西区福祉課	認知症初期集中支援チームと継続して連携を図り、初期対応、病院受診等の支援を行う。
5	南区保健子ども課	個別相談に対し、福祉課や地域包括支援センターと連携して支援
6	北区福祉課	地域包括支援センターや認知症初期支援チームとの連携を行って対応する。
7	北区保健子ども課	北部まちづくり包括支援チーム(まちづくりセンター・福祉課・保護課・地域包括支援センター・保健子ども課で構成する横断的な組織)にて、認知症の人への対応についての映像を作成し、区役所の窓口モニターや高齢者サロン、老人会で放映予定。
8	高齢福祉課	引き続き、医療従事者向け認知症対応力向上研修を実施していくとともに、各区の認知症地域支援推進員や地域包括支援センター、認知症初期集中支援チーム等が連携し、早期発見や円滑な初期対応を図る。

テーマ3 認知症の人とその家族が地域で安心して暮らせるまちづくり
(認知症対策)

(7) 身近な場所での居場所づくり

平成30年度中の取組状況

【関係団体】

	団体名	具体的取組
1	熊本市民生委員児童委員協議会	自治会、認知症サポーター、ささえりあ等と協議し、地域の子どもたちにも参加を呼びかけて「認知症カフェ」を開催した。
2	健康まちづくりを推進する東区の代表	西原中学校での「ほたくぼスクールカフェ」への協力

【行政】

	団体名	具体的取組
1	中央区福祉課	認知症カフェの運営者にインタビューを行い、現状と課題の把握を行った。
2	東区福祉課	認知症カフェ連絡会を開催し、カフェの周知や利用促進に向けた取組を検討している。
3	西区福祉課	窓口などで、西区内での認知症カフェの案内を行った。
4	北区福祉課	家族カフェ、オレンジカフェの支援。
5	高齢福祉課	認知症カフェの周知及び立ち上げに関する相談支援を実施。

テーマ3 認知症の人とその家族が地域で安心して暮らせるまちづくり
(認知症対策)

(7) 身近な場所での居場所づくり

平成31年度の具体的取組

【行政】

	団体名	具体的取組
1	中央区福祉課	認知症の人と家族の会や介護事業所と連携し、「認知症カフェ」の周知方法を検討する。
2	東区福祉課	認知症カフェ連絡会を開催し、カフェの周知や利用促進に向けた取組を検討していく。
3	西区福祉課	ささえりあやささえりあ圏域の事業所等での居場所づくりをすすめる。
4	北区福祉課	家族カフェ、オレンジカフェの支援を行う。
5	高齢福祉課	引き続き、認知症カフェの周知及び立ち上げに関する相談支援を継続して実施していく。

テーマ3 認知症の人とその家族が地域で安心して暮らせるまちづくり
(認知症対策)

(8) 認知症サポーターの養成・活用

平成30年度中の取組状況

【関係団体】

	団体名	具体的取組
1	熊本市医師会	ささえりあ本荘による「認知症サポーター養成講座」を開催。(10月30日 於 春竹地域コミュニティセンター 他2回)
2	熊本県看護協会	くまもとオレンジナース修了者に看護職員認知症対応力向上研修(マネジメント研修(1日間))を2回実施(9/22参加者:28名、11/18参加者:19名)
3	熊本県老人保健施設協会	地域等において認知症サポーター養成講座の開催。
4	熊本市地域包括支援センター連絡協議会	各ささえりあにおいて、認知症サポーター養成講座を適宜開催した。また、徘徊声かけ訓練等の開催時に認知症サポーターに協力いただいた。
5	熊本市食生活改善推進員協議会	認知症サポーターの研修等に積極的に参加した。
6	健康まちづくりを推進する中央区の代表	託麻原小学校で4年生約100名を対象に認知症キッズサポーター講座を実施。また高齢者の模擬体験訓練、高齢者施設との交流会を開催し高齢者をよく理解することに繋げた。

【行政】

	団体名	具体的取組
1	中央区福祉課	認知症サポーター、申込団体(主に企業や学校)へのインタビューを行い、各団体の取り組み状況の把握と地域活動への参加協力依頼を行った。
2	中央区保健子ども課	地域保健活動の中で養成講座の開催を周知した。
3	東区福祉課	認知症サポートリーダー養成講座を5回開催し、重要な地域資源として意欲的な認知症サポーターを地域活動へ繋ぎ、住民に対する啓発活動及びネットワーク活動が実践できる人材の養成・活動支援を行っている。
4	東区保健子ども課	健軍東小学校の4年生を対象に、高齢者疑似体験、認知症サポーター養成講座を実施 地域へ養成講座のPRを行う。
5	西区福祉課	西区内での養成講座の実施状況をまとめ、実態把握に努めた。
6	南区福祉課	関係機関に「認知症サポーター養成講座」の開講要請を行った。
7	南区保健子ども課	地域包括支援センターと連携して、小学校において認知症サポーター養成講座を実施した。
8	北区福祉課	区内の小・中学校長に対し、サポーター養成講座の開催を依頼した。
9	北区保健子ども課	地域包括支援センターと連携して、小・中学校において認知症サポーター養成講座を実施した。
10	高齢福祉課	各種団体等への認知症サポーター養成講座受講の働きかけや養成講座を開催したほか、認知症サポーターを中心とした組織的活動については、熊本県認知症アクティブチームへの推薦を行い認定を受けた。

テーマ3 認知症の人とその家族が地域で安心して暮らせるまちづくり
(認知症対策)

(8) 認知症サポーターの養成・活用

令和元年度の具体的取組

【関係機関・団体】

	団体名	具体的取組
1	熊本県看護協会	くまもとオレンジナース修了者に看護職員認知症対応力向上研修(マネジメント研修)実施(1日)
2	健康まちづくりを推進する中央区の代表	小学生達に認知症講座をきっかけに高齢者模擬訓練、高齢者施設での交流会などを通じ、高齢者と増えあう喜び、また相手が喜んでもらうことによる達成感など高齢者への理解が深めることに繋げる
3	熊本市食生活改善推進員協議会	認知症サポーターの研修等に積極的に参加する。

【行政】

	団体名	具体的取組
1	中央区福祉課	認知症サポーターの養成及びサポーターの地域での活動について、キャラバンメイトや認知症介護指導者と検討する場をもつ。
2	中央区保健子ども課	地域保健活動の中で養成講座の開催や認知症サポーターについて周知する。
3	東区福祉課	専門職向けの研修会の開催 サポートリーダーを活用しての活動の場を広げていく。
4	東区保健子ども課	健軍東小学校の4年生を対象に、高齢者疑似体験、認知症サポーター養成講座を実施。
5	西区福祉課	キャラバンメイトが負担なく認知症サポーター養成講座を開催できる体制づくりを推進する。
6	南区福祉課	前年度に引き続き、関係機関に「認知症サポーター養成講座」の開講要請を行う。
7	南区保健子ども課	認知症サポーター養成講座の周知 地域や小学校における認知症サポーター養成講座の開催(地域包括支援センターと連携して実施)
8	北区福祉課	区内の小・中学校長に対し、サポーター養成講座の開催を依頼する。
9	北区保健子ども課	引き続き、地域包括支援センターと連携して、小・中学校において認知症サポーター養成講座を実施する。
10	高齢福祉課	引き続き、各種団体等への認知症サポーター養成講座受講の働きかけや養成講座を開催するほか、認知症サポーターを中心とした組織的活動については、熊本県認知症アクティブチームへの推薦を行う。

テーマ3 認知症の人とその家族が地域で安心して暮らせるまちづくり
(認知症対策)

(9) 高齢者の移動手手段の確保(認知症高齢者の事故防止)

平成30年度中の取組状況

【関係団体】

	団体名	具体的取組
1	熊本県作業療法士会	熊本県指定自動車教習所協会と研修会の開催。高次脳機能障がい者に関する自動車運転に関する研修会の開催。
2	認知症の人と家族の会熊本県支部	認知症コールセンター相談時に、運転免許に関する相談については、運転免許センターや専門医への相談を促した。家族の会本部「運転免許に関するアンケート」調査への協力。

【行政】

	団体名	具体的取組
1	市民病院地域医療連携室	運転等の可否判断のために、家族やケアマネ等から得た、患者の生活状況(認知機能)を主治医へ報告。
2	東区福祉課	移送支援(訪問型サービスD)の立ち上げに向けた相談対応。(託麻南校区・託麻北校区・山ノ内校区)
3	南区福祉課	南区地域包括ケアシステム推進会議にて現状の認識共有を行った。
4	高齢福祉課	生活支援コーディネーターや各区と連携し、地域の主体的な移動支援サービスの創設を支援した。 認知症高齢者の事故防止に向けて、認知症サポーター養成講座や徘徊模擬訓練により認知症に対する正しい知識の理解や認知症高齢者への対応方法を普及した。

テーマ3 認知症の人とその家族が地域で安心して暮らせるまちづくり
(認知症対策)

(9) 高齢者の移動手手段の確保(認知症高齢者の事故防止)

令和元年度の具体的取組

【関係機関・団体】

	団体名	具体的取組
1	認知症の人と家族の会熊本県支部	認知症コールセンター相談時に、運転免許に関する相談については、運転免許センターや専門医への相談を促す。家族の会本部「運転免許に関するアンケート」調査への協力。

【行政】

	団体名	具体的取組
1	市民病院地域医療連携室	運転等の可否判断のために、家族やケアマネ等から得た、患者の生活状況(認知機能)を主治医へ報告。
2	東区福祉課	実施に向けた相談対応 先行取組の広報を通じた啓発 他地域での立ち上げに向けた相談対応
3	高齢福祉課	引き続き、生活支援コーディネーターや各区と連携し、地域の主体的な移動支援サービスの創設を支援する。 また、認知症高齢者の事故防止に向けて、認知症サポーター養成講座や徘徊模擬訓練により認知症に対する正しい知識の理解や認知症高齢者への対応方法の普及を図る。

テーマ3 認知症の人とその家族が地域で安心して暮らせるまちづくり
(認知症対策)

(10) 認知症の方の生活支援

平成30年度中の取組状況

【関係団体】

	団体名	具体的取組
1	熊本県作業療法士会	介護福祉士会と認知症者のリハと介護に関する研修会の開催。 「認知症の人と家族の会」と連携し研修や通いの場支援等の対応を開始した。
2	熊本県社会福祉士会	成年後見制度の後見人等を担う社会福祉士を養成することで、家庭裁判所と連携し、被後見人等の実際の権利擁護及び身上監護を行っている。また地域社会における成年後見制度の普及・啓発活動を行っている。 「福祉サービスの充実に向けた社会福祉士の取組みを考える」をテーマに社会福祉学会を開催し、「成年後見制度における意思決定支援」の講演会を行った。

【行政】

	団体名	具体的取組
1	中央区福祉課	個別事例に対して、地域包括支援センターと連携して生活支援を行った。
2	北区福祉課	適切な介護サービスを利用できるよう申請等の支援。
3	高齢福祉課	「認知症安心ガイドブック」に若年性認知症に関するページを取り入れ、若年性認知症の方の制度や支援体制の周知により生活支援に関する情報を提供した。また、認知症コールセンターに配置している若年性認知症支援コーディネーターによる相談対応や就労支援を実施した。

テーマ3 認知症の人とその家族が地域で安心して暮らせるまちづくり
(認知症対策)

(10) 認知症の方の生活支援

令和元年度の具体的取組

【関係機関・団体】

	団体名	具体的取組
1	熊本県社会福祉士会	成年後見制度の後見人等を担う社会福祉士を養成することで、家庭裁判所と連携し、被後見人等の実際の権利擁護及び身上監護を行う。また地域社会における成年後見制度の普及・啓発活動を継続する。

【行政】

	団体名	具体的取組
1	中央区福祉課	個別事例や自立支援型地域ケア会議、課題解決型地域ケア会議等を通して、認知症の方が地域で生活できるための支援体制を検討する。
2	北区福祉課	適切な介護サービスを利用できるよう申請等の支援を行う。
3	高齢福祉課	引き続き、「認知症安心ガイドブック」を活用し、若年性認知症の方の制度や支援体制の周知により生活支援に関する情報を周知する。また、認知症コールセンターに配置している若年性認知症支援コーディネーターによる相談対応や就労支援を実施する。

テーマ4 高齢者が自らに合った暮らし方を選択できるまちづくり
(高齢者の住まい関連)

(1) 高齢者の移動手段の確保

平成30年度中の取組状況

【関係機関・団体】

	団体名	具体的取組
1	熊本県理学療法士協会	ダイハツ工業と協力して健康安全運転講座を開催、運転に必要な運動等について講演や体力測定等を行った。
2	熊本県作業療法士会	熊本県指定自動車教習所協会と研修会の開催。高次脳機能障がい者に関する自動車運転に関する研修会の開催。

【行政】

	団体名	具体的取組
1	都市政策課	公共交通ネットワークの維持や公共交通空白地域等におけるコミュニティ交通の導入・運行に取り組んだ。(交通政策課)
2	中央区福祉課	地域包括支援センターの活動支援を通して、移送サービスの必要性について状況把握を行った。
3	東区福祉課	移送支援(訪問型サービスD)の立ち上げに向けた相談対応。(託麻南校区・託麻北校区・山ノ内校区)
4	南区福祉課	南区地域包括ケアシステム推進会議にて現状の認識共有を行った。。
5	高齢福祉課	生活支援コーディネーターや各区と連携し、住民主体による移動支援サービスの設立を支援した。

テーマ4 高齢者が自らに合った暮らし方を選択できるまちづくり
(高齢者の住まい関連)

(1) 高齢者の移動手段の確保

令和元年度の具体的取組

【関係機関・団体】

	団体名	具体的取組
1	熊本県理学療法士協会	関連企業と連携し健康安全運転講座の開催を計画している。
2	熊本県作業療法士会	研修会の開催や相談対応の実施など運転継続と運転再開の両方への取り組み検討。
3	熊本市地域包括支援センター連絡協議会	新規事業である総合事業D型サービスについて、地域への周知を図り、立ち上げや運営を支援していく。

【行政】

	団体名	具体的取組
1	都市政策課	公共交通ネットワークの維持や公共交通空白地域等におけるコミュニティ交通の導入・運行に取り組む。(交通政策課)
2	中央区福祉課	移送サービスの必要性について検討する。
3	東区福祉課	実施に向けた相談対応 先行取組の広報を通じた啓発 他地域での立ち上げに向けた相談対応
4	高齢福祉課	引き続き、生活支援コーディネーターや各区と連携し、住民主体による「地域支え合い型サービス」(移動支援サービス)への支援と普及を図り、地域における多様な生活支援サービスの創出に取り組む。

テーマ4 高齢者が自らに合った暮らし方を選択できるまちづくり
(高齢者の住まい関連)

(2) 高齢者が住みやすいまちづくり

平成30年度中の取組状況

【関係機関・団体】

	団体名	具体的取組
1	健康まちづくりを推進する西区の代表	隣保を単位とした協力体制の構築、自治連合会の共通理解による見守り活動や協働・協力体制の構築。

【行政】

	団体名	具体的取組
1	都市政策課	都市機能誘導区域内における医療・商業等の都市機能を維持・確保するため、都市再生特別措置法第108条に基づく届出があった場合、受理書とともに、人口減少下において見込まれる課題や、本市のまちづくりの方向性を示した文書を合わせてお返しすることで、都市機能誘導区域内への立地促進を図っている。
2	中央区総務企画課	「ともに考える地域包括ケアシステム」講演会を福祉課と共催で開催し、自治会長などに情報提供した。
3	東区福祉課	校区やささえりあ圏域毎に開催されている見守り体制づくりに向けた会議（自治会組織、事業所、医療機関、警察、地域包括支援センター、行政等）への参加。 認知症声かけ訓練事前研修会の開催。 校区座談会の開催支援。
4	東区保健子ども課	ささえりあ主催の会議（地域ケア会議、運営協議会など）に参加。

テーマ4 高齢者が自らに合った暮らし方を選択できるまちづくり
(高齢者の住まい関連)

(2) 高齢者が住みやすいまちづくり

令和元年度の具体的取組

【関係機関・団体】

	団体名	具体的取組
1	健康まちづくりを推進する西区の代表	町内の高齢者に対する見守りや協力体制の構築。

【行政】

	団体名	具体的取組
1	都市政策課	立地適正化計画に定める都市機能誘導区域において、医療・商業・金融等の都市機能の維持確保を図るとともに、公共交通による当該区域や区域間のアクセスの充実に努める。
2	東区福祉課	校区やささえりあ圏域毎に開催されている見守り体制づくりに向けた会議（自治会組織、事業所、医療機関、警察、地域包括支援センター、行政等）への参加。 認知症声かけ訓練事前研修会の開催。 校区座談会の開催支援。

テーマ4 高齢者が自らに合った暮らし方を選択できるまちづくり
(高齢者の住まい関連)

(3) 高齢者向け住宅・施設の整備・促進

平成30年度中の取組状況

【行政】

	団体名	具体的取組
1	都市政策課	関係課と連携し、高齢者福祉施設等の補助事業の選定に際し、これらの施設が都市機能誘導区域内に立地する場合には配点上の優遇措置を設けており、平成30年度には都市機能誘導区域内に1件の採択があった。
2	住宅政策課	サービス付き高齢者向け住宅について、ホームページ等で情報提供を行い、制度の周知に努めた。
3	高齢福祉課 介護保険課	経済的、環境的な面から支援を要する高齢者の養護老人ホームへの措置や軽費老人ホームへの支援を行った。また、将来の適正なサービス水準の推計を踏まえ、特別養護老人ホーム等の施設整備を行った。

テーマ4 高齢者が自らに合った暮らし方を選択できるまちづくり
(高齢者の住まい関連)

(3) 高齢者向け住宅・施設の整備・促進

令和元年度の具体的取組

【行政】

	団体名	具体的取組
1	都市政策課	関係課と連携し、都市機能誘導区域や居住誘導区において、高齢者福祉施設やサービス付高齢者向け住宅等の立地を促進する。
2	住宅政策課	サービス付き高齢者向け住宅について、ホームページ等で情報提供を行い、制度周知を行う。
3	高齢福祉課 介護保険課	引き続き、経済的、環境的な面から支援を要する高齢者の養護老人ホームへの措置や軽費老人ホームへの支援を行う。また、将来の適正なサービス水準の推計を踏まえ、特別養護老人ホーム等の施設整備を図る。

テーマ4 高齢者が自らに合った暮らし方を選択できるまちづくり
(高齢者の住まい関連)

(4) 高齢者の生活支援の充実

平成30年度中の取組状況

【関係機関・団体】

	団体名	具体的取組
1	熊本市地域包括支援センター連絡協議会	地域に不足している社会資源をリサーチしたり、移動支援サービスを住民主体で運営する市のモデル事業などに携わった。
2	熊本市シルバー人材センター	市営楠団地においてLSA(生活援助員)業務を行い、高齢者の日常の生活支援や緊急時の対応を実施した。(15名が就業)
3	熊本市食生活改善推進員協議会	食事等の手伝いを実施。

【行政】

	団体名	具体的取組
1	中央区福祉課	生活支援コーディネーターの活動支援を通して地域の現状把握を行った。 生活支援コーディネーターと協働で生活支援サービスに関する情報交換会を行った。
2	東区福祉課	移送支援(訪問型サービスD)の立ち上げに向けた相談対応。(託麻南校区・託麻北校区・山ノ内校区)
3	北区福祉課	地域包括支援センターに配置されている生活支援コーディネーターを通して支援を行った。
4	高齢福祉課	これまで兼務であった生活支援コーディネーターを平成30年度より専任化し、地域における生活支援サービスや支え合いの体制づくりに対する支援体制を強化した。 住民主体による新たな生活支援サービスの創設を支援した。

テーマ4 高齢者が自らに合った暮らし方を選択できるまちづくり
(高齢者の住まい関連)

(4) 高齢者の生活支援の充実

令和元年度の具体的取組

【関係機関・団体】

	団体名	具体的取組
1	熊本市食生活改善推進員協議会	食事等の手伝いを実施。

【行政】

	団体名	具体的取組
1	中央区福祉課	生活支援コーディネーターの活動支援を通して生活支援サービス創出や充実に向けて取り組む。
2	東区福祉課	実施に向けた相談対応 先行取組の広報を通じた啓発 他地域での立ち上げに向けた相談対応
3	北区福祉課	地域包括支援センターに配置されている生活支援コーディネーターを通して支援を行っていく。
4	高齢福祉課	引き続き、生活支援コーディネーターや各区と連携し、住民主体による「地域支え合い型サービス」への支援と普及を図り、地域における多様な生活支援サービスの創出に取り組む。

テーマ4 高齢者が自らに合った暮らし方を選択できるまちづくり
(高齢者の住まい関連)

(5) 住宅・施設の入居に関する相談・支援

平成30年度中の取組状況

【関係機関・団体】

	団体名	具体的取組
1	熊本市社会福祉協議会	家族がいない方や疎遠で保証人がいないなど、賃貸住宅を自力で借りることができない方へ保証人代行を行う、住宅確保要配慮者支援事業を実施。(契約者39名)

【行政】

	団体名	具体的取組
1	こころの健康センター	電話相談で市民から相談があった場合、担当する部署の情報提供を行う。
2	住宅政策課	高齢者が民間賃貸住宅に円滑に住み替えができるよう、熊本市居住支援協議会において「あんしん住み替え相談窓口」を運営した。高齢者の相談者数：43件(平成31年3月1日時点)
3	中央区福祉課	窓口や電話相談、地域包括支援センター等関係機関からの相談対応を行った。 自力で住まいの確保が困難な高齢者に対して、関係部署と連携し、高齢者向け住宅や施設入居に関する相談・支援を行った。
4	西区福祉課	相談者に対して、関係事業所等と連携し適切な住まいの選択が行えるよう、支援を行った。
5	北区福祉課	相談者に対し、情報誌の提供などを行った。
6	高齢福祉課	地域包括支援センターにおいて住宅改造等、住まいに関する相談対応や申請支援を行った。

テーマ4 高齢者が自らに合った暮らし方を選択できるまちづくり
(高齢者の住まい関連)

(5) 住宅・施設の入居に関する相談・支援

令和元年度の具体的取組

【関係機関・団体】

	団体名	具体的取組
1	熊本市社会福祉協議会	住宅確保要配慮者支援事業の実施。

【行政】

	団体名	具体的取組
1	こころの健康センター	電話相談で市民から相談があった場合、担当する部署の情報提供を行う。
2	住宅政策課	高齢者が民間賃貸住宅に円滑に住み替えができるよう、熊本市居住支援協議会において「あんしん住み替え相談窓口」を運営する。
3	中央区福祉課	窓口や電話相談、地域包括支援センター等関係機関からの相談対応を行う。 自力で住まいの確保が困難な高齢者に対して、関係部署と連携し、高齢者向け住宅や施設入居に関する相談・支援を行う。
4	西区福祉課	相談者に対して、関係事業所等と連携し適切な住まいの選択が行えるよう、支援を行う。
5	南区保健子ども課	窓口や電話相談における適切な対応（関係機関へつなぐ）。
6	北区福祉課	相談があった際、情報誌の提供などを行う。
7	高齢福祉課	引き続き、地域包括支援センターにおいて住宅改造等、住まいに関する相談対応や申請支援を行う。

テーマ4 高齢者が自らに合った暮らし方を選択できるまちづくり
(高齢者の住まい関連)

(6) 高齢者の特性に応じた住まいづくり

平成30年度中の取組状況

【関係機関・団体】

	団体名	具体的取組
1	熊本県理学療法士協会	熊本市住宅改造居宅介護支援員派遣事業に5名の会員が協力した。

【行政】

	団体名	具体的取組
1	中央区福祉課	窓口や電話での個別相談を通して、住宅改修や福祉用具の利用による住まいづくりの助言等を行った。
2	北区福祉課	住宅改修や福祉用具の利用による住まいづくりの助言等を行った。
3	介護保険課	要介護（支援）者が住みなれた家で安心して生活するために改修が必要となった際に、ケアマネジャーや理学療法士、建築士等による助言を行うとともに、改修費に対して助成を行った。

テーマ4 高齢者が自らに合った暮らし方を選択できるまちづくり
(高齢者の住まい関連)

(6) 高齢者の特性に応じた住まいづくり

令和元年度の具体的取組

【関係機関・団体】

	団体名	具体的取組
1	熊本県理学療法士協会	熊本市住宅改造居宅介護支援員派遣事業に協力し、高齢者・障害者の住宅改修にかかる助言を行う。

【行政】

	団体名	具体的取組
1	中央区福祉課	窓口や電話での個別相談を通して、住宅改修や福祉用具の利用による住まいづくりの助言等を行う。
2	北区福祉課	住宅改修や福祉用具の利用による住まいづくりの助言等を行う。
3	介護保険課	引く続き、ケアマネジャーや理学療法士、建築士等による助言を行うとともに、改修費に対して助成を行う。

テーマ4 高齢者が自らに合った暮らし方を選択できるまちづくり
(高齢者の住まい関連)

(7) 多様な住まい方についての意識啓発

平成30年度中の取組状況

【関係機関・団体】

	団体名	具体的取組
1	熊本県看護協会	在宅療養看取り支援事業講演会を住民向けに10/28実施(参加者:107名) 多様な住まいの場における療養・看取りケア研修(地域と熊本市の2ヶ所で看護職1日、介護職2日 看護職:51名、介護職:19名、その他医療職:7名 延160名参加)

【行政】

	団体名	具体的取組
1	中央区福祉課	窓口や電話での個別相談を通して、多様な住まい方があることを啓発した。
2	北区福祉課	住宅改修や福祉用具の利用による住まいづくりの助言等を行った。

テーマ4 高齢者が自らに合った暮らし方を選択できるまちづくり
(高齢者の住まい関連)

(7) 多様な住まい方についての意識啓発

令和元年度の具体的取組

【関係機関・団体】

	団体名	具体的取組
1	熊本県看護協会	多様な住まいの場における看取り講演会を住民向けに開催予定 「看護がつなく地域ケアフォーラム」を住民向けに開催予定

【行政】

	団体名	具体的取組
1	中央区福祉課	窓口や電話での個別相談を通して、多様な住まい方について啓発を行う。
2	北区福祉課	住宅改修や福祉用具の利用による住まいづくりの助言等を行う。

テーマ4 高齢者が自らに合った暮らし方を選択できるまちづくり
(高齢者の住まい関連)

(8) 高齢者向け住宅のサービスの質の確保

平成30年度中の取組状況

【関係機関・団体】

	団体名	具体的取組
1	熊本県社会福祉士会	<p>熊本県と共催で市町村・地域包括支援センター職員を対象に「養介護施設従事者等による高齢者虐待対応現認者標準研修」を開催。担当職員の虐待対応のスキルを上げることで、虐待防止と共に虐待が発生した際の適切な対応による施設の質の確保につなげた。</p> <p>熊本県が開催している「高齢者権利擁護研修会」を受託しており、養介護施設従事者等による高齢者虐待対応に関する研修会を、市町村・地域包括支援センター職員に対し実施した。</p> <p>弁護士会・司法書士会と三者協定で設立・運営している「熊本県高齢者・障害者虐待対応専門職チーム」が熊本市と契約している。契約に則り、養護者及び養介護施設従事者等による高齢者虐待対応の相談を受け回答書による助言、虐待対応ケース会議への派遣を行った。また、区や地域包括支援センターが開催する研修会にも講師を派遣した。</p>

【行政】

	団体名	具体的取組
1	住宅政策課	サービス付高齢者向け住宅のハード・ソフト両面の質を確保していくため、また、管理状況の把握と適正化を図るため、住宅部局と福祉部局が連携して定期報告及び立入検査を実施した。定期報告：62件、立入検査：10件
2	中央区福祉課	高齢者向け住宅のサービスの質について個別相談を受けた場合は、必要に応じて介護事業指導室を紹介したり、聞き取った内容を介護事業指導室に情報提供した。

テーマ4 高齢者が自らに合った暮らし方を選択できるまちづくり
(高齢者の住まい関連)

(8) 高齢者向け住宅のサービスの質の確保

令和元年度の具体的取組

【関係機関・団体】

	団体名	具体的取組
1	熊本県社会福祉士会	<p>熊本県と共催で市町村・地域包括支援センター職員を対象に「養介護施設従事者等による高齢者虐待対応現認者標準研修」を継続開催。担当職員の虐待対応のスキルを上げることで、虐待防止と共に虐待が発生した際の適切な対応による施設の質の確保につなげる。</p> <p>熊本県が開催している「高齢者権利擁護研修会」を受託しており、養介護施設従事者等による高齢者虐待対応に関する研修会を、市町村・地域包括支援センター職員を対象に開催する。</p> <p>弁護士会・司法書士会と三者協定で設立・運営している「熊本県高齢者・障害者虐待対応専門職チーム」が熊本市と契約しており、契約に則り、養護者及び養介護施設従事者等による高齢者虐待対応の相談を受け回答書による助言、虐待対応ケース会議への派遣を行っていく。また、区や地域包括支援センターが開催する研修会等において講師派遣依頼に随時対応する。</p>

【行政】

	団体名	具体的取組
1	住宅政策課	サービス付高齢者向け住宅のハード・ソフト両面の質を確保していくため、住宅部局と福祉部局が連携して定期報告や立入検査等を実施することで、管理状況の把握と適正化を図る。
2	中央区福祉課	高齢者向け住宅のサービスの質について個別相談を受けた場合は、必要に応じて介護事業指導室の情報提供を行ったり、相談者を紹介する。

テーマ4 高齢者が自らに合った暮らし方を選択できるまちづくり
(高齢者の住まい関連)

(9) 高齢者向け住宅・施設に関する情報提供

平成30年度中の取組状況

【行政】

	団体名	具体的取組
1	住宅政策課	熊本市居住支援協議会が運営する「Saflenet熊本市あんしん住み替え支援サイト」にサービス付高齢者向け住宅や有料老人ホームなどの情報を掲載した。掲載件数：582件（平成31年3月1日時点）
2	市民病院地域医療連携室	高齢者住宅情報誌を外来待合室に設置。
3	中央区福祉課	窓口や電話での個別相談を通して、情報提供を行った。 自力で住まいの確保が困難な高齢者に対して、関係部署と連携し、高齢者向け住宅や施設に関する情報提供を行った。
4	北区福祉課	相談者に対し、情報誌の提供などを行った。
5	介護保険課	介護保険施設について、ホームページ等で情報提供を行った。

テーマ4 高齢者が自らに合った暮らし方を選択できるまちづくり
(高齢者の住まい関連)

(9) 高齢者向け住宅・施設に関する情報提供

令和元年度の具体的取組

【関係機関・団体】

	団体名	具体的取組
1	熊本市民生委員児童委員協議会	平成30年度同様、高齢者の関心が高いサービス付き高齢者向け住宅、有料老人ホーム、ケアハウス等住まいに関することに対してより一層理解を深めていきたい。

【行政】

	団体名	具体的取組
1	住宅政策課	熊本市居住支援協議会が運営する「Saflanet熊本市あんしん住み替え支援サイト」にサービス付高齢者向け住宅や有料老人ホームなどの情報を掲載する。
2	中央区福祉課	窓口や電話での個別相談を通して、情報提供を行う。 自力で住まいの確保が困難な高齢者に対して、関係部署と連携し、高齢者向け住宅や施設に関する情報提供を行う。
3	北区福祉課	相談があった際、情報誌の提供などを行う。
4	市民病院地域医療連携室	高齢者住宅情報誌を外来待合室に設置。
5	介護保険課	引き続き、介護保険施設について、ホームページ等で情報提供を行う。

平成30年度の取組により「新たに課題であると感じた」こと、その他ご意見

下益城郡医師会

在宅医療に取り組む医師を増やしたいが、なかなか難しい。

熊本市薬剤師会

自立支援型地域ケア会議への助言者としての出席率を高め、多職種との連携の促進

熊本県看護協会

熊本県看護協会の活動は、県域での活動が多く市（各区）との連携が進行していない感がある。市民が安心して暮らせるまちづくりには、熊本市（各区）の実情を知り、連携を深める必要があると感じる。

他職種を講師で招いて在宅医療・介護の充実に向けて研修を開催したり、また地域包括ケアフォーラムを開催しているが、多職種連携が深まるとは言い難い、今後も検討が必須である。

熊本県理学療法士協会

協力会員の人選と調整が非常に難しい。協力に際し、会員所属施設の理解を得るべく熊本市からの働き掛けをお願いしたい。あわせて、適切な予算化をお願いしたい。

会として多くの公益事業を抱えている。同時進行で進めており、全体のコーディネートが必要となる。やむを得ない場合もあるが、年度末に集中しないようなタイムスケジュールが求められる。

地域包括ケアシステムの深化推進に向けた取り組みに関して、専門職の理解・協力は進んでいるかと思うが、一般市民の理解はまだ希薄な印象が否めない。更なる啓発が必要かと思われる。

熊本県作業療法士会

広域リハセンターと密着リハセンターの連携体制 認知症疾患医療センターと当会地区組織との連携体制 当会内の人材把握と人材育成など。

くまもと元気クラブやサロンでの取り組みは増加しつつあるが、参加されていない（参加困難）な住民への関わり、地域でのリーダー発掘と育成、参加の場所までの交通手段の確保、地域の方々の介護予防や地域包括ケアシステムに関する啓発や意識の醸成が必要と考える。

通いの場への関りは、立ち上げ支援から継続支援、住民主体へ引継ぎ支援など支援の段階付けを行うコーディネートが各地域で求められる。

熊本県言語聴覚士会

失語症に対する意思疎通支援について、地域生活支援事業の「専門性の高い意思疎通支援を行う者の養成研修事業（都道府県必須事業）」に「失語症向け意思疎通支援者養成研修事業」が追加されました。それに伴い、熊本県言語聴覚士会では本年度から事業を開始しております。熊本県は本年度から事業を開始した11の都道府県の中でも最も早く40時間のカリキュラムを終えたという点で評価を受けています。なお、本年度は9名が養成講習会に参加され、4名の方へ修了証を発行いたしました。今後も有資格者を要請していく所存です。

こちらで養成された支援者は、「意思疎通支援事業（市町村必須事業）」による派遣の対象となると厚生労働省及び熊本県の担当者より聞いております。しかし、現状では、「地域にそのような方はいなかった」、「ニーズがない」など調査方法のあまさや失語症に対する知識不足から派遣事業に見向きもしていただけない市町村が多いのが現状です。熊本市内にも失語症の方はおられます。そういった方々の社会参加の一助となればと思ひ、当団体では取り組んでおります。我々の思いを知っていただき、ご協力を頂けると幸いです。ご検討の程よろしく申し上げます。

熊本県社会福祉士会

権利擁護については「地域包括ケアシステム」構築のための重要な視点の1つであり、現在、家庭裁判所から成年後見人等の受任依頼も年々増加しており今後益々成年後見制度を必要とする方が増えていくのは十分推察できる。しかし受任できるマンパワーが不足しており第三者後見人及び市民後見人等の人材育成が重要である。

虐待対応の一義的な責務は市町村が担うとされている。措置要綱を含めた具体的な虐待対応マニュアルの整備・普及は急務であると考えます。

熊本市地域包括支援センター連絡協議会

〇くまもとメディカルネットワークに加入する事業所が少ないと、当該システムを用いた情報共有は困難であり、医療・介護関係機関の加入者数を増やす事が必要だと考える。

〇総合事業B・D型は地域の地縁団体や住民が主体的に運営する事が想定されているため、地域に対し、制度の周知や立ち上げ支援を手厚くしないと、当該事業の普及が思う様に進まない可能性がある。申請書類などもできるだけ簡素化するなど、事業開設や運営に係る事務負担を軽減する事も必要。

熊本市民生委員児童委員協議会

地域では、独居者（高齢者に限らない）が増え続けており、孤立している人たちを地域につなぐことに難しさを感じています。また、熊本地震の際には、避難所へ来られない方々がどのような問題を考えているのか（例えば、介護、障がい、ペット等々）考えさせられました。地域の中で、見落としがちな人々への支援の必要性を実感しているところです。

地域の課題に向きあう時、解決に向けた対応には、民生委員・児童委員としての使命感とともに負担感も伴います。このような民生委員・児童委員活動に対し、関係機関の皆様のご理解とご協力をお願いしたく思います。

熊本市シルバー人材センター

高齢者の就業機会の確保はもとより、地域において高齢者が高齢者を支える仕組みづくりはますます重要になっている。

その視点から地域包括ケアの必要性は高く、これを構成するものとして生きがい就業を基本とするシルバー人材センター業務と労働者派遣の拡充を図り、元気な高齢者づくりをさらに進めることとしたい。

熊本県栄養士会

地域包括ケア・地域ケア会議に対する認知度や理解の幅や温度差がある。必要と思っけていても自身が動かなくてもの思い、問題意識の差が感じられる。栄養士の所属する職域にも関係すると思うが、「なぜ必要か」関心を持ち動いてもらえるような働きかけが会としても必要と思う。地域ケア会議、訪問栄養にスムーズに人材を派遣できる組織内での体制構築が必要。多職種と連携、情報交換ができる関係性を作ることも大事と感じる。

熊本県精神科協会

在宅医療体制づくりの充実度や地域包括ケアシステムの活用レベルを計るものさし（尺度）があると、地域の偏在が分かると考える。

熊本県老人保健施設協会

地域の人材を生かすため、新たな雇用体系を作り、介護アシスタント事業の周知と広報をより強化していきたい。

健康まちづくりを推進する北区の代表

西里校区では、「健康で明るい緑豊かな西里校区」のスローガンを掲げて、健康まちづくりに取り組んでいます。「西里健康まちづくりアンケート」は、熊本保健科学大学と北区役所保健子ども課の協力を得て実施しました。

調査内容は、校区住民の健康に関わる生活習慣や健康度、家族や近隣との交流についての現状を明らかにし、今後の活動に活かすことを目的に実施しました。また、今後、数年ごとに本調査を実施することで、校区における健康まちづくりの効果を確認するようにしています。

実施方法は、20歳から64歳まで（676枚 回収435枚）と65歳以上（507枚 回収448枚）を対象に直接配付し回収を行い、回収率74.6%となりました。

アンケートの集計と分析は、熊本保健科学大学の看護学科の先生と生徒さんをお願いして、今後の西里校区の地域活動に各年代別にどのように活かしていくか、立派な結果を得ることができました。

しかし、アンケート結果の住民への周知方法と住民一人一人がどのくらい意識して、地域の活動や健康に関する活動に参加してくれるのか、活動にどう取り組むか今後の課題と思っています。

健康まちづくりを推進する東区の代表

サロン、体操教室いずれも男性の参加者が少ない。
流動資金予定

健康まちづくりを推進する西区の代表

本校区では「みんなで支え合おう春日の暮らし」というテーマでの研修を3年間行った。この研修によって地域包括ケアシステムの概念が地域で共有できたように思う。今後、さらに高齢者や障害のある人を地域で支え合うシステムの構築に努力したい。

なお、地域包括ケアシステムの構築に欠かせないのは「地域包括支援センター」としての「ささえりあ」である。折々に「ささえりあ」の力を借りながら地域福祉の体制強化を図ってまいりたい。

熊本県介護支援専門員協会熊本市支部

認知症に対する理解およびその普及は以前よりも増してきていると感じます。しかし、「認知症を知られたくない」等の意向がある方へのアプローチに関する方法・手段を構築する必要があると考えます。

熊本市が目指す「まちづくり」（地域包括ケアシステムや制度の理解）について市民への普及・啓発に力を入れるべきと考えます。～興味・関心をどうもたせるか！我が事として！

参 考

アンケート調査協力先

	関係機関・団体		市役所内関係各課
1	熊本市医師会	1	市民局地域政策課
2	鹿本医師会(熊本市医師会に一任)	2	市民局地域活動推進課
3	下益城郡医師会	3	健康福祉局健康福祉政策課
4	熊本市歯科医師会	4	健康福祉局障がい保健福祉課
5	熊本県精神科協会	5	健康福祉局こころの健康センター
6	熊本市薬剤師会	6	健康福祉局医療政策課
7	熊本県看護協会	7	健康福祉局健康づくり推進課
8	熊本県栄養士会	8	都市建設局都市政策課
9	熊本県理学療法士会	9	都市建設局住宅政策課
10	熊本県作業療法士会	10	熊本市消防局救急課
11	熊本県言語聴覚士会	11	市民病院(地域医療連携室)
12	熊本県社会福祉士会	12	中央区役所総務企画課
13	熊本県介護福祉士会	13	中央区役所福祉課
14	熊本県介護支援専門員協会	14	中央区役所保健子ども課
15	熊本市老人福祉施設協議会	15	東区役所総務企画課
16	熊本県老人保健施設協会	16	東区役所福祉課
17	熊本県地域密着型サービス連絡会	17	東区役所保健子ども課
18	熊本市地域包括支援センター連絡協議会	18	西区役所総務企画課
19	熊本市社会福祉協議会	19	西区役所福祉課
20	熊本市民生委員児童委員協議会	20	西区役所保健子ども課
21	認知症の人と家族の会 熊本県支部	21	南区役所総務企画課
22	熊本市シルバー人材センター	22	南区役所福祉課
23	熊本市老人クラブ連合会	23	南区役所保健子ども課
24	熊本市食生活改善推進員協議会	24	北区役所総務企画課
25	熊本市8020健康づくりの会	25	北区役所福祉課
26	健康まちづくりを推進する中央区の代表	26	北区役所保健子ども課
27	健康まちづくりを推進する東区の代表		
28	健康まちづくりを推進する西区の代表		
29	健康まちづくりを推進する南区の代表		
30	健康まちづくりを推進する北区の代表		
31	熊本商工会議所		
32	熊本県警察本部生活安全企画課		

(順不同)